

事 務 連 絡  
平成28年8月24日

公益社団法人 日本産科婦人科学会 御中

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課

「平成27年度乳幼児栄養調査結果の概要」の送付について

母子保健行政の推進については、かねてより特段の御配慮をいただいている  
ところであり、深く感謝申し上げます。

平成27年9月に実施しました乳幼児栄養調査について、別添のとおり概要  
をとりまとめましたので、送付いたします。

本調査結果につきましては、厚生労働省ホームページ (<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000134208.html>) にも掲載しておりますので、貴  
会員に周知くださいますようお願いいたします。

連 絡 先

厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課  
栄養専門官 日名子（ひなご）

TEL 03-5253-1111 内線 7934

FAX 03-3595-2680



政府統計

平成 28 年 8 月 24 日

**【照会先】**

雇用均等・児童家庭局母子保健課

課長補佐 高山 啓 (内線 7933)

栄養専門官 日名子 まき (内線 7934)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2544

## 平成 27 年度「乳幼児栄養調査」の結果（概要版）を公表します ～ 母乳栄養の割合が増加、経済的な暮らし向きによって子どもの食物摂取に差 ～

厚生労働省ではこのたび、平成 27 年 9 月に実施した「乳幼児栄養調査」の結果（概要版）を取りまとめましたので、公表します。

「乳幼児栄養調査」は、授乳・離乳の支援、乳幼児の食生活改善のための基礎資料として、全国の乳幼児の栄養方法や食事の状況などの実態を把握するため、昭和 60 年から 10 年ごとに実施しています。4 回目となる今回の調査では、平成 27 年国民生活基礎調査において無作為に設定された 1,106 地区内の世帯のうち、平成 27 年 5 月 31 日現在で 6 歳未満の子どものいる世帯を対象としました。そして、2,992 世帯の 3,936 人について協力が得られ、有効回答が得られた 3,871 人について集計しました。

**【調査結果のポイント】※詳細は、別添の概要をご覧ください。**

### 〈乳幼児の栄養方法や食事に関する状況〉

- ・ 授乳期の栄養方法は、母乳栄養の割合が増加。10 年前に比べ、生後 1 か月では 42.4%から 51.3%、生後 3 か月では 38.0%から 54.7%へと増加。（P3-図 1）
- ・ 出産施設での母乳育児に関する支援があったと回答した保護者も増加。（P5-図 4）
- ・ 授乳、離乳食、子どもの食事について、約 8 割の保護者は困りごとがあった。（P7-表 2、P10-図 10、P15-図 16）

### 〈乳幼児の生活習慣や健康状態に関する状況〉

- ・ 朝食を必ず食べる子どもの割合は、93.3%。保護者が朝食を「ほとんど食べない」「全く食べない」と回答した場合は、その割合がそれぞれ 78.9%、79.5%と 8 割を下回った。（P19-図 21、図 22）

### 〈食物アレルギーや社会経済的要因に関する状況〉

- ・ これまでに、食事が原因と思われるアレルギー症状を起こしたことがある子どもの割合は、14.8%。そのうち 11.2%は医療機関を未受診。また、食物アレルギーの原因（と思われる）食物の除去や制限をしたことがある保護者の割合は 23.6%（「現在もしている」と「過去にしていたことはあるが、現在はしていない」の合計）。そのうち 42.1%は医師の指示ではなかった。（P26-図 35、P27-図 36）
- ・ 社会経済的要因として、経済的な暮らし向き、生活の中の時間的なゆとり、総合的な暮らしについて尋ね、「ゆとりあり」（「ゆとりがある」または「ややゆとりがある」）と回答した保護者の割合は、それぞれ 29.3%、31.1%、41.4%。一方、「ゆとりなし」（「あまりゆとりはない」または「全くゆとりはない」）と回答した保護者の割合は、それぞれ 37.5%、47.1%、21.1%。（P29-図 37）
- ・ 社会経済的要因別に、子どもの主要な食物の摂取頻度をみると、経済的な暮らし向きにおいて、有意な差がみられた項目が多かった。  
具体的には、魚、大豆・大豆製品、野菜、果物は、経済的な暮らし向きが「ゆとりあり」の場合に摂取頻度が高い傾向がみられ、菓子（菓子パン含む）、インスタントラーメンやカップ麺は、経済的な暮らし向きが「ゆとりなし」の場合に摂取頻度が高い傾向がみられた。（P31-図 39）

# 平成27年度 乳幼児栄養調査結果の概要

目次	(頁)
<b>I 調査の概要</b>	1
<b>II 結果の概要</b>	
<b>第1部 乳幼児の栄養方法や食事に関する状況</b>	
1 授乳に関する状況について	3
(1) 授乳期の栄養方法の推移	3
(2) 母乳育児に関する妊娠中の考え	4
(3) 母乳育児に関する出産施設での支援状況	5
(4) 授乳について困ったことと母乳育児に関する指導状況	7
2 離乳食に関する状況について	9
(1) 離乳食の開始時期・開始の目安と完了時期	9
(2) 離乳食について困ったこと	10
(3) 離乳食について学ぶ機会	11
3 子どもの食事に関する状況について	12
(1) 子どもの主要食物の摂取頻度	12
(2) 子どもの間食の状況	13
(3) 子どもの食事で特に気をつけていること	14
(4) 現在子どもの食事について困っていること	15
<b>第2部 乳幼児の生活習慣や健康状態に関する状況</b>	
1 生活習慣に関する状況について	16
(1) 起床時刻・就寝時刻	16
(2) 共食の状況	18
(3) 朝食習慣	19
(4) 運動と身体活動の状況	21
(5) テレビやビデオを見る時間、ゲーム機やタブレット等を使用する時間	22
2 健康状態に関する状況について	23
(1) 子どもの肥満度と保護者の子どもの体格に関する認識	23
(2) むし歯の状況	24
(3) 排便の状況	25
<b>第3部 食物アレルギーや社会経済的要因に関する状況</b>	
1 食物アレルギーに関する状況について	26
(1) 食物アレルギーの状況	26
(2) 食物アレルギーの対応	27
2 社会経済的要因に関する状況について	29
(1) 社会経済的要因の状況	29
(2) 社会経済的要因と乳児期の栄養方法	30
(3) 社会経済的要因と主要食物の摂取頻度	31

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

全国の乳幼児の栄養方法及び食事の状況等の実態を把握し、授乳・離乳の支援、乳幼児の食生活改善のための基礎資料を得ることを目的とする。

## 2. 調査対象

調査の対象は、平成 27 年国民生活基礎調査において無作為に設定された 1,106 地区内の世帯のうち、平成 27 年 5 月 31 日現在で 6 歳未満の子ども（平成 21 年 6 月 1 日から平成 27 年 5 月 31 日までに生まれた子ども）のいる世帯及びその子どもとした。ただし、平成 27 年 9 月豪雨の影響により、茨城県内の 3 地区は除いた。

## 3. 調査時期

平成 27 年 9 月の 1 日

## 4. 調査項目

母乳育児に関する認識や指導の状況、授乳や離乳食の状況、子どもの食物アレルギーの状況、子どもの健康状態や生活習慣、保護者の生活習慣、世帯の状況等からなる。

## 5. 調査の方法

調査員が被調査世帯を訪問し、子どもの母親（もしくは、子どもの食事に関わっている養育者）に調査票の記入を依頼し、後日調査員が回収する方式により実施した。

## 6. 調査系統

厚生労働省－都道府県、保健所設置市、特別区－保健所－調査員－被調査者

## 7. 結果の集計及び集計客体

結果の集計は、厚生労働省雇用均等・児童家庭局母子保健課で行った。

調査協力が得られた世帯数は 2,992 世帯、6 歳未満の子どもは 3,936 人であり、このうち、子どもの年齢の情報が得られなかった又は年齢が対象外等であった 65 人を除外した 3,871 人を集計対象とした。

集計対象とした子どもの状況は、以下のとおりである。

※平成 27 年 9 月 1 日時点の年齢（人）

6 か月未満	6 か月～ 1 歳未満	1 歳～ 1 歳 6 か月未満	1 歳 6 か月～ 2 歳未満	2 歳～ 2 歳 6 か月未満	2 歳 6 か月～ 3 歳未満	3 歳～ 3 歳 6 か月未満
165	336	307	316	277	302	328
3 歳 6 か月～ 4 歳未満	4 歳～ 4 歳 6 か月未満	4 歳 6 か月～ 5 歳未満	5 歳～ 5 歳 6 か月未満	5 歳 6 か月～ 6 歳未満	6 歳～ 6 歳 4 か月未満	総数
336	373	324	332	321	154	3,871

## 8. その他

- ・解析対象者数は、図表中（ ）内に併記した。
- ・掲載している数値は四捨五入のため、内訳合計が総数と合わないことがある。
- ・保護者や世帯の状況に関する数値については、世帯に対象となる子どもが複数いる場合も、子どもの人数として集計している。

## II 結果の概要

### 第1部 乳幼児の栄養方法や食事に関する状況

#### 1 授乳に関する状況について

##### (1) 授乳期の栄養方法の推移

授乳期の栄養方法は、10年前に比べ、母乳栄養の割合が増加し、生後1か月では51.3%、生後3か月では54.7%であった。混合栄養も含めると、母乳を与えている割合は、生後1か月で96.5%、生後3か月で89.8%であった。

出産後1年未満の母親の就業状況別に母乳栄養の割合をみると、出産後1年未満に働いていた者は49.3%、育児休暇中の者及び働いていない者は56.8%であった。10年前に比べ、特に、出産後1年未満に働いていた者について、母乳栄養の割合が22.6ポイント増加していた。

図1 授乳期の栄養方法（1か月、3か月）の推移

（回答者：昭和60年度・平成7年度・平成17年度0～4歳児の保護者、平成27年度0～2歳児の保護者）

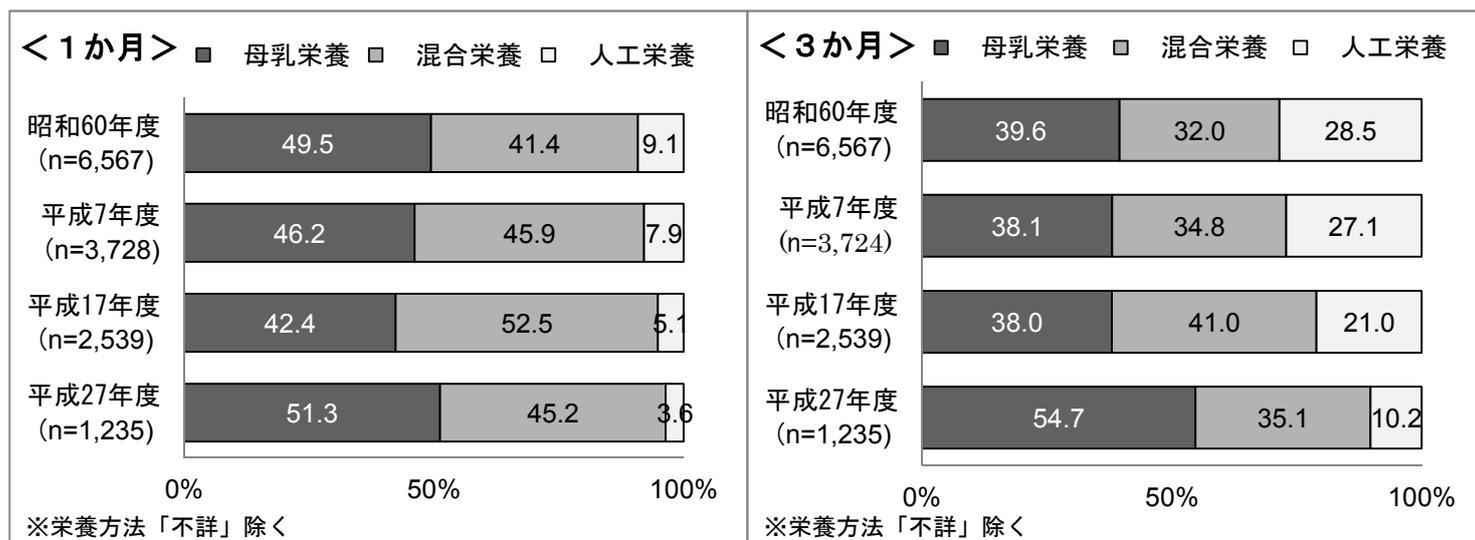
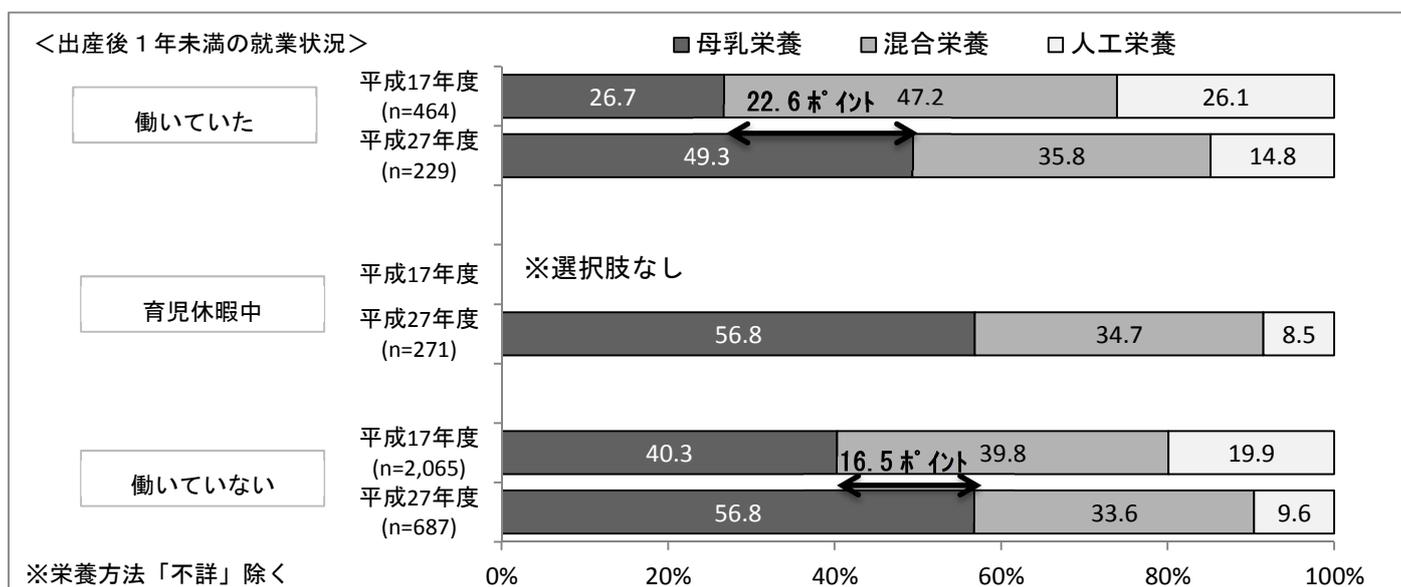


図2 出産後1年未満の就業状況別 授乳期の栄養方法（3か月）

（回答者：平成17年度0～4歳児の保護者、平成27年度0～2歳児の保護者）



## (2) 母乳育児に関する妊娠中の考え

妊娠中に、「ぜひ母乳で育てたいと思った」と回答した者の割合は 43.0%、「母乳が出れば母乳で育てたいと思った」と回答した者の割合は 50.4%であり、合計すると母乳で育てたいと思った者の割合は9割を超えていた。母乳育児に関する妊娠中の考え別に、授乳期の栄養方法（1か月）をみると、「ぜひ母乳で育てたいと思った」と回答した者は、母乳栄養の割合が最も高く 67.6%、「母乳が出れば母乳で育てたいと思った」と回答した者は、混合栄養の割合が最も高く 55.6%であった。

図3 母乳育児に関する妊娠中の考え  
(回答者：平成17年度0～4歳児の保護者、平成27年度0～2歳児の保護者)

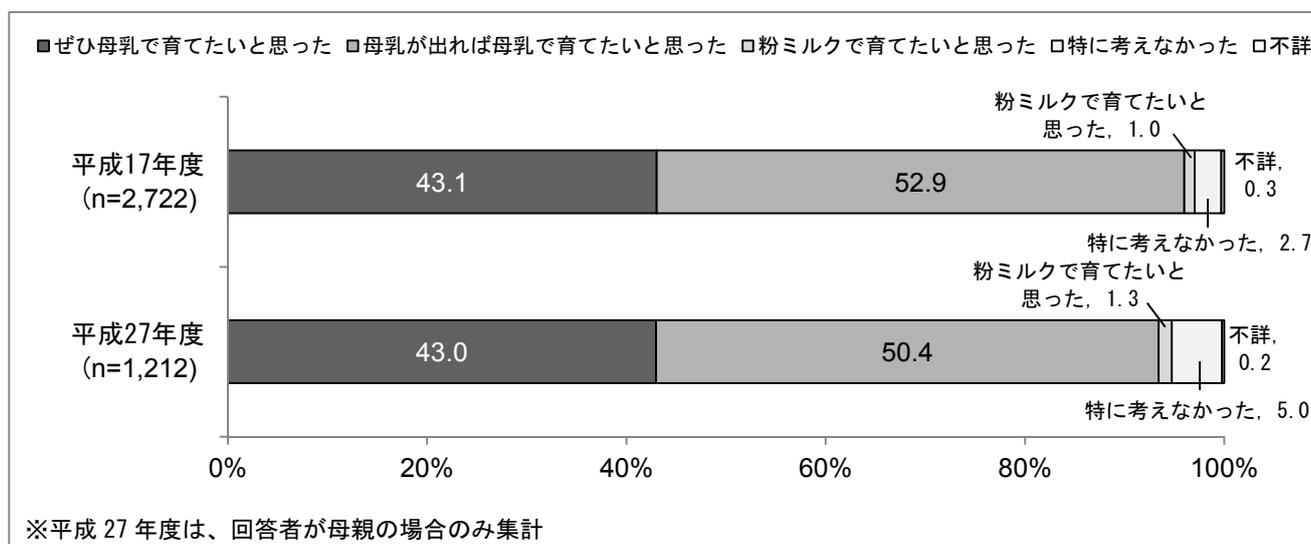


表1 母乳育児に関する妊娠中の考え別 授乳期の栄養方法（1か月）（回答者：0～2歳児の保護者）

1か月	母乳栄養		混合栄養		人工栄養	
	人	%	人	%	人	%
総数*	633	51.3	558	45.2	44	3.6
ぜひ母乳で育てたいと思った	349	<b>67.6</b>	162	31.4	5	1.0
母乳が出れば母乳で育てたいと思った	248	40.7	339	<b>55.6</b>	23	3.8
粉ミルクで育てたいと思った	1	6.3	7	43.8	8	<b>50.0</b>
特に考えなかった	20	33.3	33	<b>55.0</b>	7	11.7

※栄養方法「不詳」除く／回答者が母親の場合のみ集計

\*総数には、母乳育児に関する妊娠中の考えが「不詳」を含む

### (3) 母乳育児に関する出産施設での支援状況

母乳育児に関する出産施設での支援として、「出産後 30 分以内に母乳を飲ませた」について支援があったと回答した者の割合は 37.2%、「出産直後から母子同室だった」について支援があったと回答した者の割合は 27.9%、「赤ちゃんが欲しいときはいつでも母乳を飲ませた」について支援があったと回答した者の割合は 74.9%であり、いずれも 10 年前と比べ増加した。また、母乳育児に関する出産施設での支援があったと回答した者は、そうでない者に比べ母乳栄養の割合が高かった。

図4 母乳育児に関する出産施設での支援状況  
(回答者：平成 17 年度 0～4 歳児の保護者、平成 27 年度 0～2 歳児の保護者)

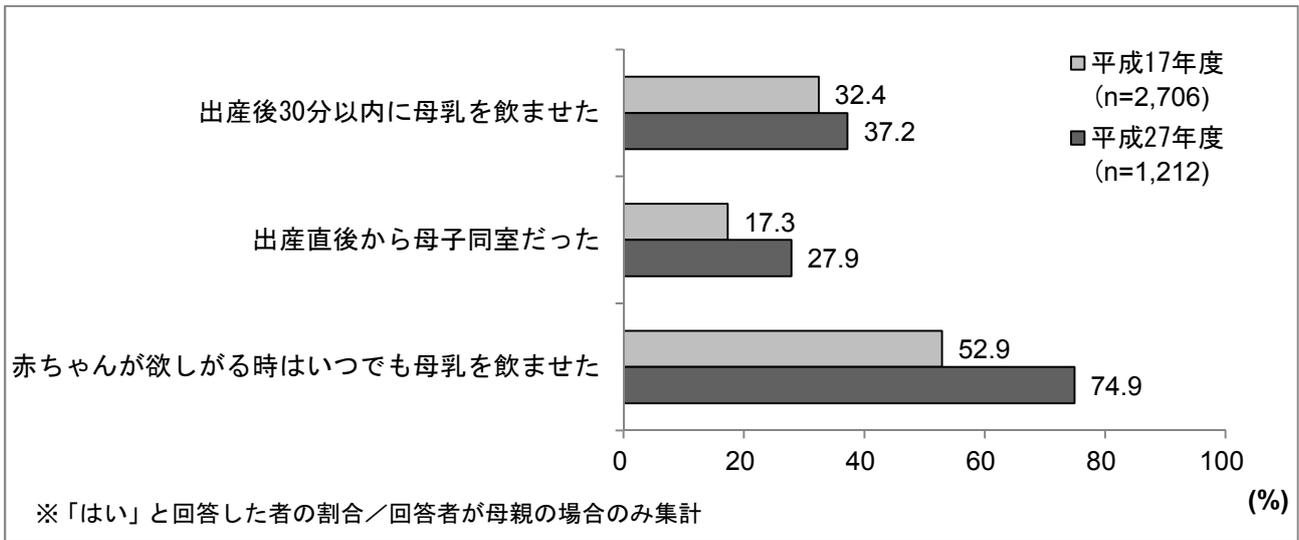
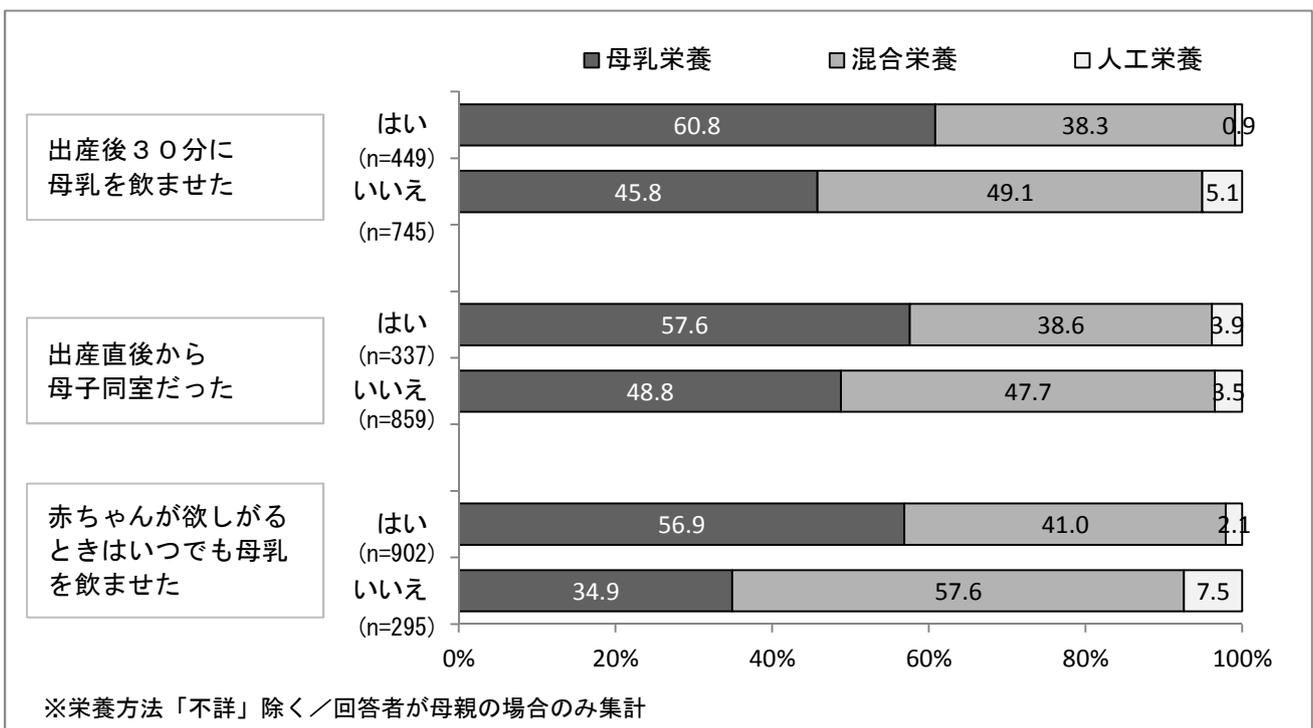


図5 母乳育児に関する出産施設での支援状況別 授乳期の栄養方法（1か月）  
(回答者：0～2 歳児の保護者)



<参考>「母乳育児を成功させるための十か条」

WHO/UNICEF が 1989 年 3 月に共同で発表。お母さんが赤ちゃんを母乳で育てられるように、産科施設とそこで働く職員が実行すべきことを具体的に示した十か条。

- 1 母乳育児推進の方針を文書にして、すべての関係職員がいつでも確認できるようにしましょう。
- 2 この方針を実施するうえで必要な知識と技術をすべての関係職員に指導しましょう。
- 3 すべての妊婦さんに母乳で育てる利点とその方法を教えましょう。
- 4 お母さんを助けて、分娩後 30 分以内に赤ちゃんに母乳をあげられるようにしましょう。
- 5 母乳の飲ませ方をお母さんに実地に指導しましょう。また、もし赤ちゃんをお母さんから離して収容しなければならない場合にも、お母さんの分泌維持の方法を教えましょう。
- 6 医学的に必要でないかぎり、新生児には母乳以外の栄養や水分を与えないようにしましょう。
- 7 お母さんと赤ちゃんが一緒にいられるように、終日、母子同室を実施しましょう。
- 8 赤ちゃんが欲しがるときは、いつまでもお母さんが母乳を飲ませてあげられるようにしましょう。
- 9 母乳で育てている赤ちゃんにゴムの乳首やおしゃぶりを与えないようにしましょう。
- 10 母乳で育てるお母さんのための支援グループ作りを助け、お母さんが退院するときにそれらのグループを紹介しましょう。

<参考>「授乳・離乳の支援ガイド」(平成 19 年 3 月)における母乳育児の支援を進めるポイント  
《妊娠中から》

- ①すべての妊婦さんやその家族とよく話し合いながら、母乳で育てる意義とその方法を教えましょう。
- 《出産後から退院まで》特に出産直後については、医療従事者が関わるなかで安全性に配慮した支援を行う。
- ②出産後はできるだけ早く、母子がふれあって母乳を飲めるように、支援しましょう。
  - ③出産後は母親と赤ちゃんが終日、一緒にいられるように、支援しましょう。
  - ④赤ちゃんが欲しがるとき、母親が飲ませたいときには、いつでも母乳を飲ませられるように支援しましょう。

《退院後には》

- ⑤母乳育児を継続するために、母乳不足感や体重増加不良などへの専門的支援、困ったときに相談できる場所づくりや仲間づくりなど、社会全体で支援しましょう。

#### (4) 授乳について困ったことと母乳育児に関する指導状況

授乳について困ったことは、「母乳が足りているかどうかわからない」40.7%、「母乳が不足気味」20.4%、「授乳が負担・大変」20.0%の順で多かった。授乳期の栄養方法（1か月）別にみると、授乳について何らか困ったことがある者の割合は、混合栄養が88.2%と最も高く、人工栄養が69.8%、母乳栄養が69.6%であった。また、授乳について困ったことは、母乳栄養、混合栄養、人工栄養で最も高い割合を示す項目に違いがみられた。

医療機関等で、母乳育児に関する指導を「妊娠中に受けた」と回答した者の割合は59.3%、「出産後に受けた」と回答した者の割合は73.9%であった。

表2 授乳について困ったこと（回答者：0～2歳児の保護者）

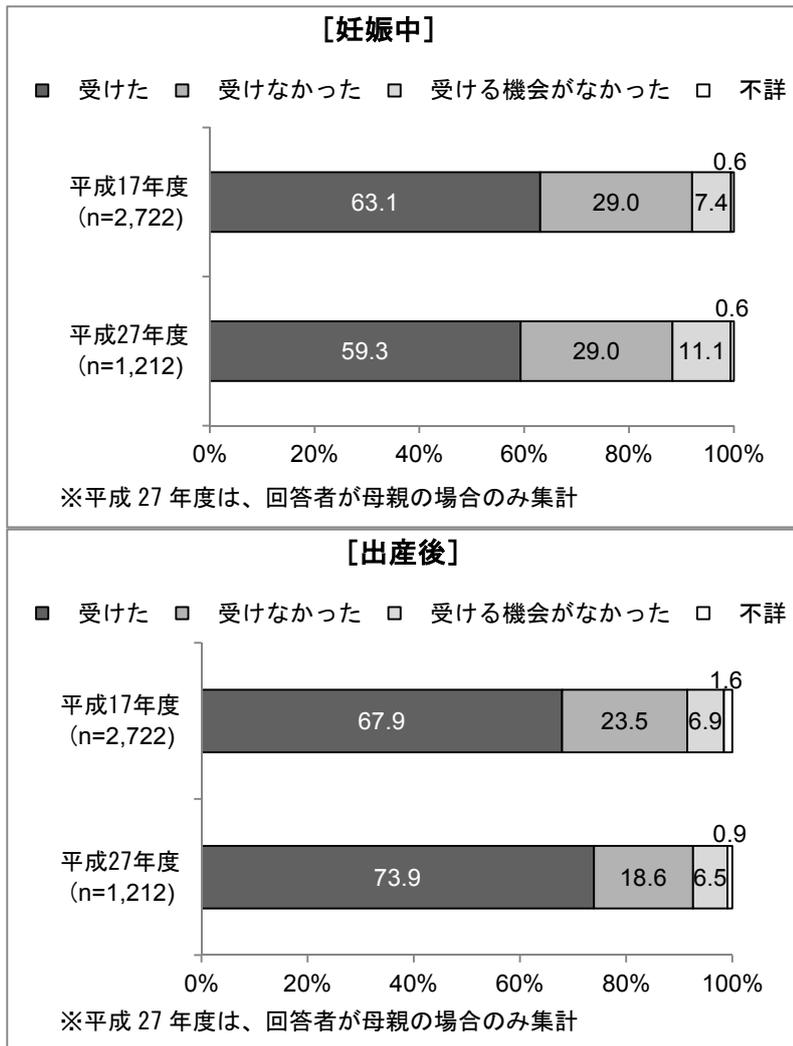
授乳について困ったこと	総数* (n=1,242)	栄養方法（1か月）別 (n=1,200)		
		母乳栄養 (n=616)	混合栄養 (n=541)	人工栄養 (n=43)
困ったことがある	77.8	69.6	<b>88.2</b>	69.8
母乳が足りているかどうかわからない	40.7	31.2	<b>53.8</b>	16.3
母乳が不足気味	20.4	8.9	<b>33.6</b>	9.3
授乳が負担、大変	20.0	16.6	<b>23.7</b>	18.6
人工乳（粉ミルク）を飲むのをいやがる	16.5	<b>19.2</b>	15.7	2.3
外出の際に授乳できる場所がない	14.3	<b>15.7</b>	14.4	2.3
子どもの体重の増えがよくない	13.8	10.2	<b>19.0</b>	9.3
卒乳の時期や方法がわからない	12.9	11.0	<b>16.1</b>	2.3
母乳が出ない	11.2	5.2	15.9	<b>37.2</b>
母親の健康状態	11.1	11.2	9.8	<b>14.0</b>
母乳を飲むのをいやがる	7.8	3.7	11.1	<b>23.3</b>
子どもの体重が増えすぎる	6.8	5.8	<b>7.9</b>	7.0
母乳を飲みすぎる	4.4	<b>6.7</b>	2.2	0.0
人工乳（粉ミルク）を飲みすぎる	3.7	1.1	6.1	<b>7.0</b>
母親の仕事（勤務）で思うように授乳ができない	3.5	<b>4.2</b>	3.0	0.0
相談する人がいない、もしくは、わからない	1.7	0.8	<b>2.6</b>	0.0
相談する場所がない、もしくは、わからない	1.0	0.3	<b>1.7</b>	0.0
その他	5.2	4.9	<b>5.7</b>	4.7
特になし	22.2	<b>30.4</b>	11.8	30.2

（複数回答）

※栄養方法のうち、最も高い割合を示しているものに下線

\*総数には、栄養方法「不詳」を含む

図6 医療機関等での母乳育児に関する指導状況（妊娠中、出産後）  
 （回答者：平成17年度0～4歳児の保護者、平成27年度0～2歳児の保護者）



## 2 離乳食に関する状況について

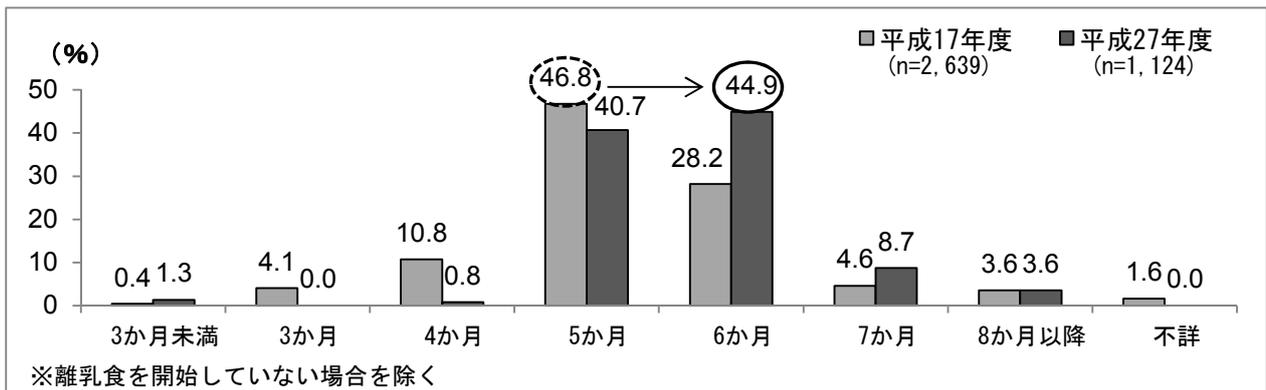
### (1) 離乳食の開始時期・開始の目安と完了時期

離乳食の開始時期は、「6か月」の割合が44.9%と最も高く、平成17年度よりピークが1か月遅くなっていた。また、離乳食開始の目安は、「月齢」の割合が84.3%と最も高かった。

離乳食の完了時期は、「13～15か月」の割合が33.3%と最も高く、平成17年度よりピークが遅くなっていた。

図7 離乳食の開始時期

(回答者：平成17年度0～4歳児の保護者、平成27年度0～2歳児の保護者)



<参考>「授乳・離乳の支援ガイド」(平成19年3月)において、離乳食の開始時期を従前の「生後5か月になった頃」から「生後5、6か月頃」と変更。

図8 離乳食開始の目安 (回答者：0～2歳児の保護者)

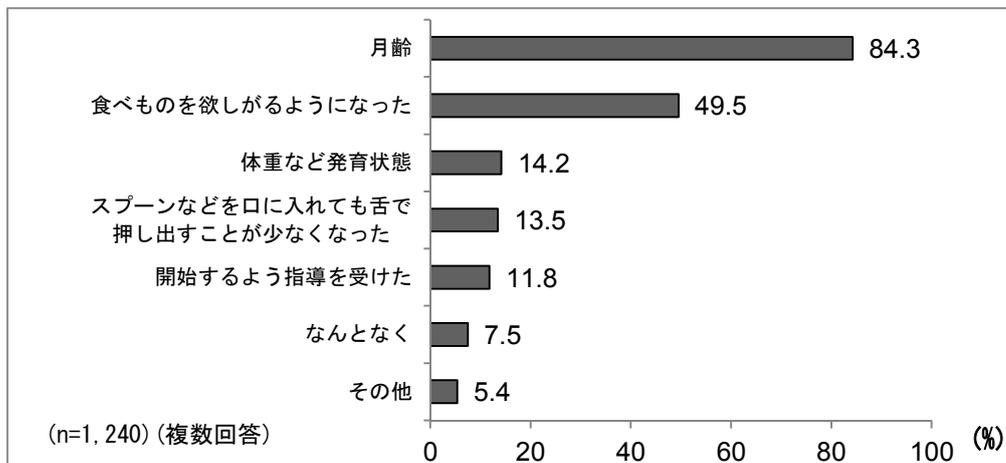
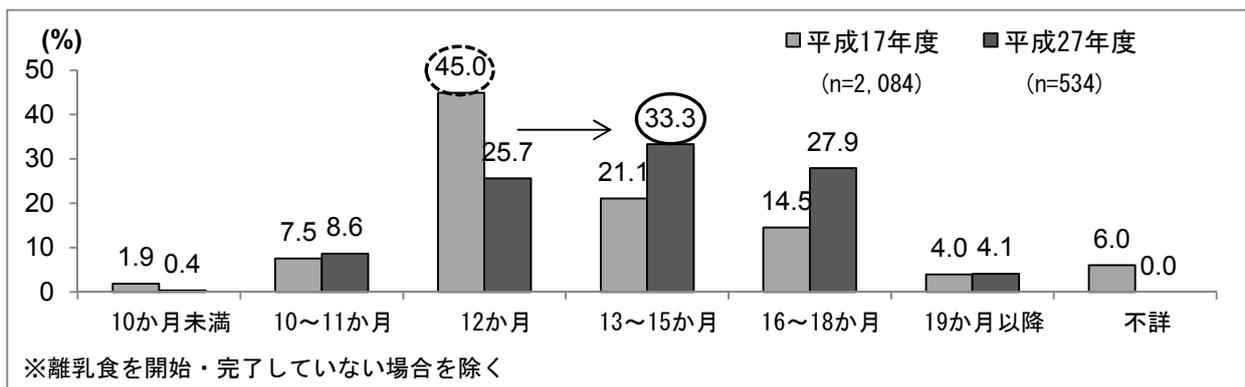


図9 離乳食の完了時期

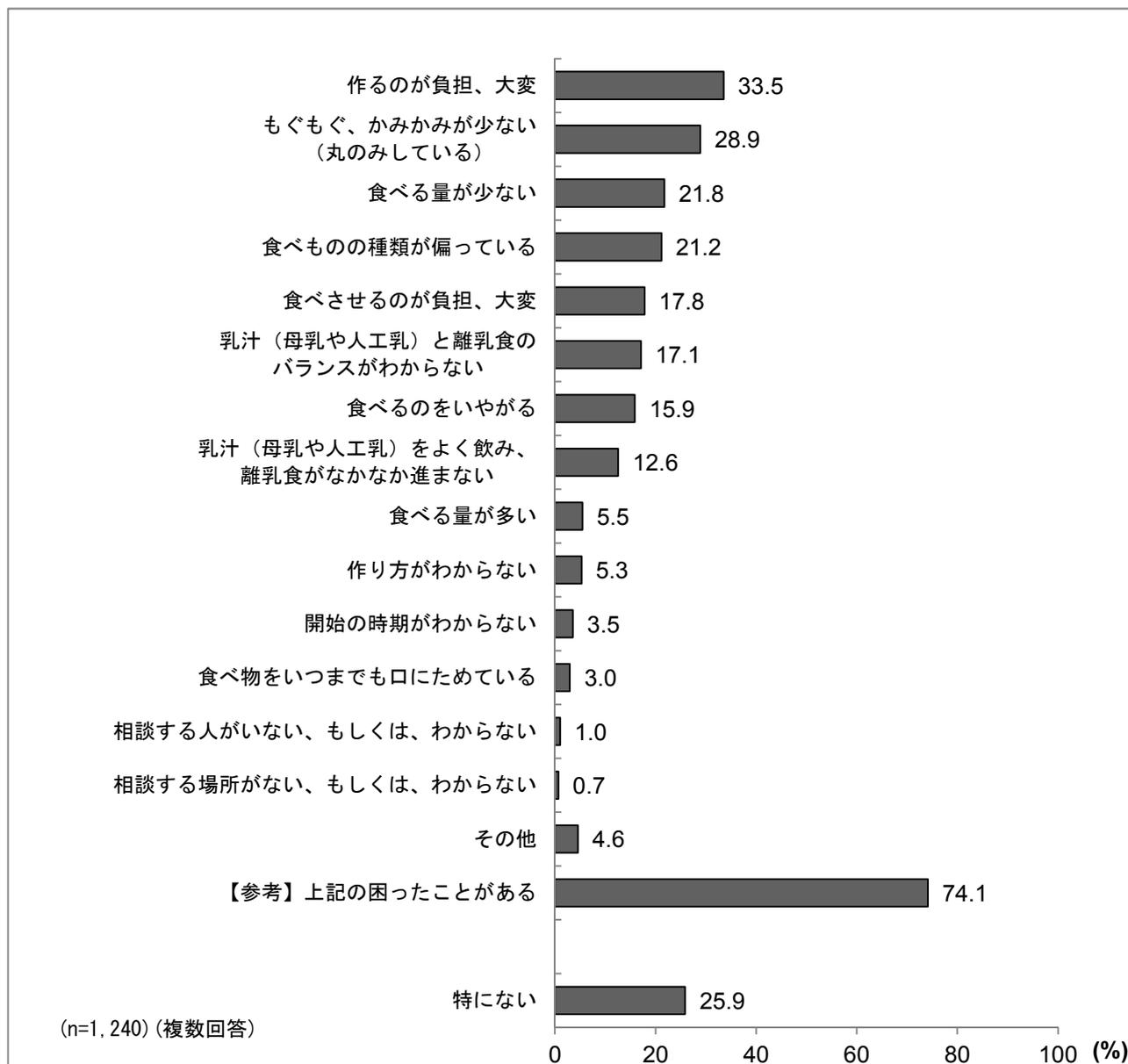
(回答者：平成17年度0～4歳児の保護者、平成27年度0～2歳児の保護者)



## (2) 離乳食について困ったこと

離乳食について困ったことは、「作るのが負担、大変」33.5%、「もぐもぐ、かみかみが少ない（丸のみしている）」28.9%、「食べる量が少ない」21.8%の順だった。離乳食について困ったことは、「特にない」と回答した者の割合は25.9%であり、約75%の保護者は、離乳食について何らかの困りごとを抱えていた。

図10 離乳食について困ったこと（回答者：0～2歳児の保護者）



### (3) 離乳食について学ぶ機会

離乳食の進め方について、学ぶ機会が「あった」と回答した者の割合は、83.5%であった。離乳食について学んだ場所（人）としては、「保健所・市町村保健センター」が67.5%と最も高く、「育児雑誌」41.3%、「インターネット」27.8%、「友人・仲間」26.8%、「あなたの母親など家族」26.7%の順だった。

図11 離乳食に関する学習機会（回答者：0～2歳児の保護者）

①離乳食の進め方について、学ぶ機会がありましたか。

(n=1,248)

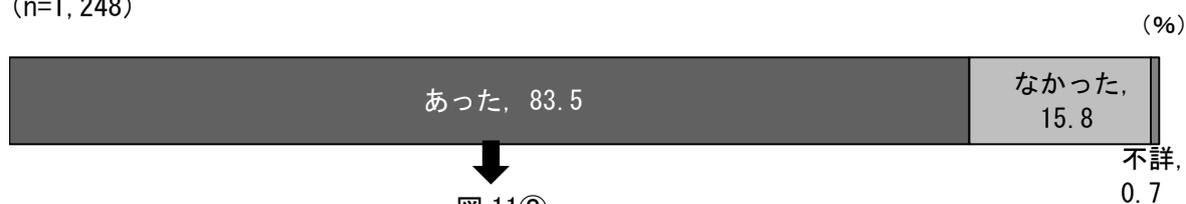
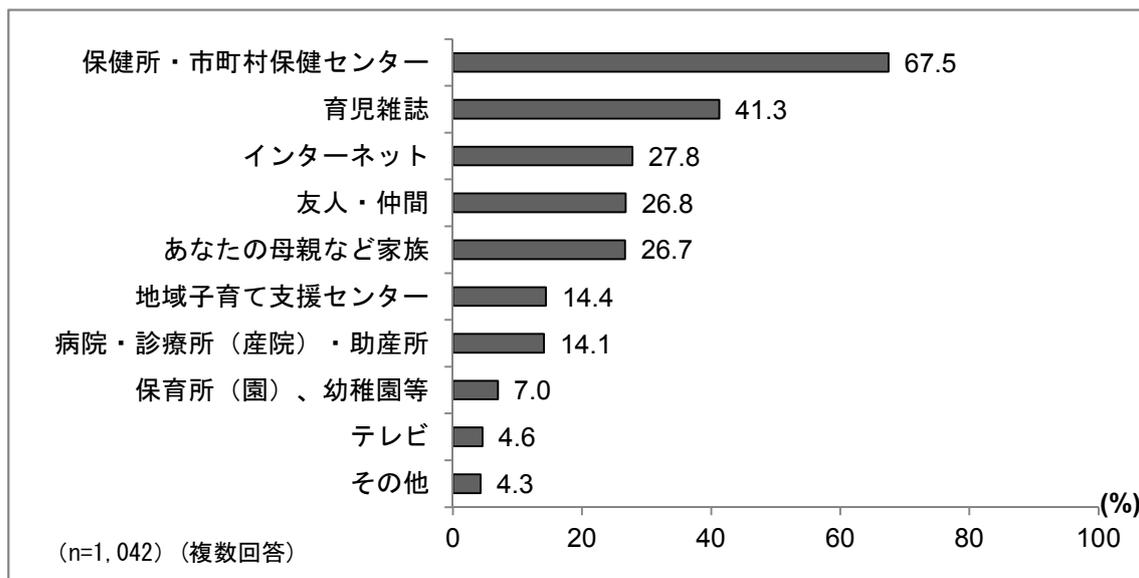


図11②

②どこで（誰から）学びましたか。

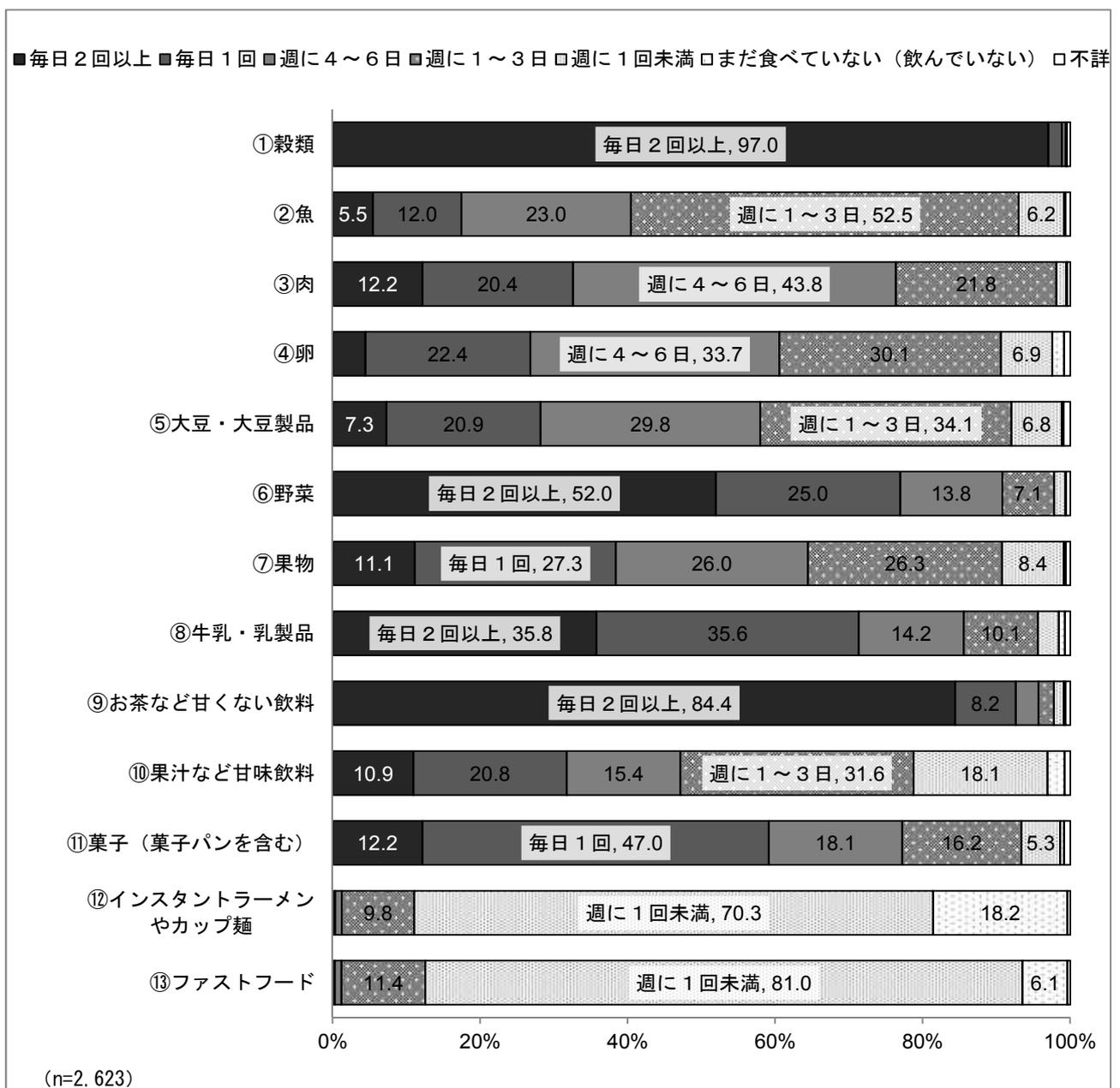


### 3 子どもの食事に関する状況について

#### (1) 子どもの主要食物の摂取頻度

13 種類の食物の摂取頻度について、穀類、お茶など甘くない飲料、野菜、牛乳・乳製品は「毎日2回以上」と回答した者の割合が最も高く、それぞれ97.0%、84.4%、52.0%、35.8%だった。菓子（菓子パンを含む）、果物は「毎日1回」と回答した者の割合が最も高く、それぞれ47.0%、27.3%だった。肉、卵は「週に4～6日」と回答した者の割合が最も高く、それぞれ43.8%、33.7%だった。魚、大豆・大豆製品は「週に1～3日」と回答した者の割合が高く、それぞれ52.5%、34.1%だった。ファストフード、インスタントラーメンやカップ麺は「週に1回未満」と回答した者の割合が最も高く、それぞれ81.0%、70.3%であった。

図12 子どもの主要食物の摂取頻度（回答者：2～6歳児の保護者）



注) 図中の5%未満のデータについては、ラベル省略。参考表参照。

## (2) 子どもの間食の状況

子どもの間食（3食以外に食べるもの）の与え方について、「時間を決めてあげることが多い」と回答した者の割合が56.3%と最も高かった。

子どもの間食として、甘い飲み物やお菓子を1日にとる回数は、どの年齢階級も「1回」と回答した者の割合が最も高かった。そして、2回以上とっている者の割合は、2歳～3歳未満が最も高く41.9%であり、5歳以上が最も低く28.9%であった。

図13 子どもの間食（3食以外に食べるもの）の与え方（回答者：2～6歳児の保護者）

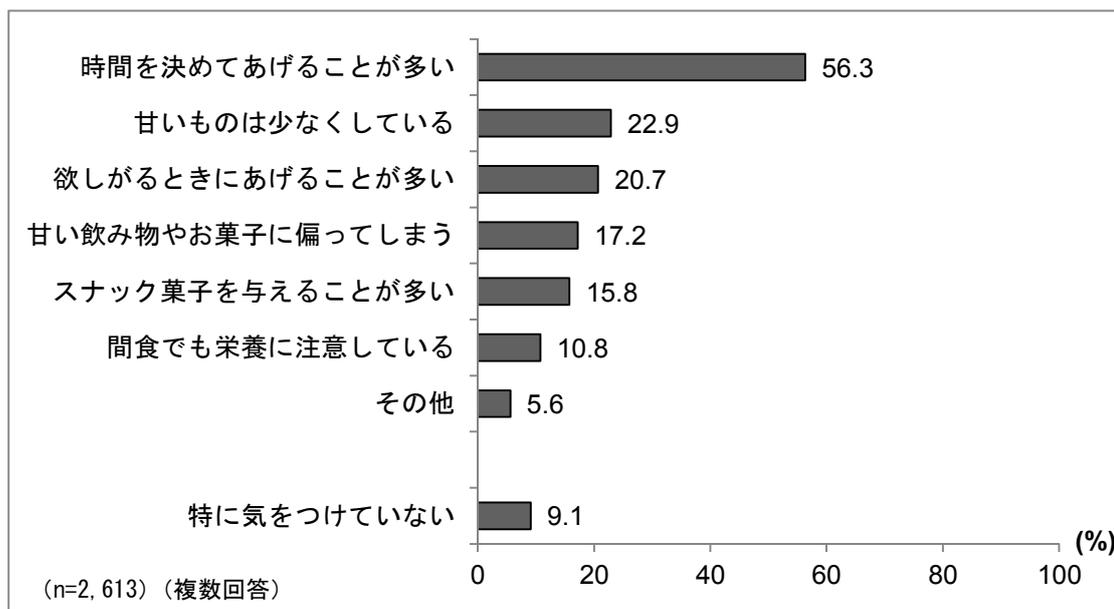
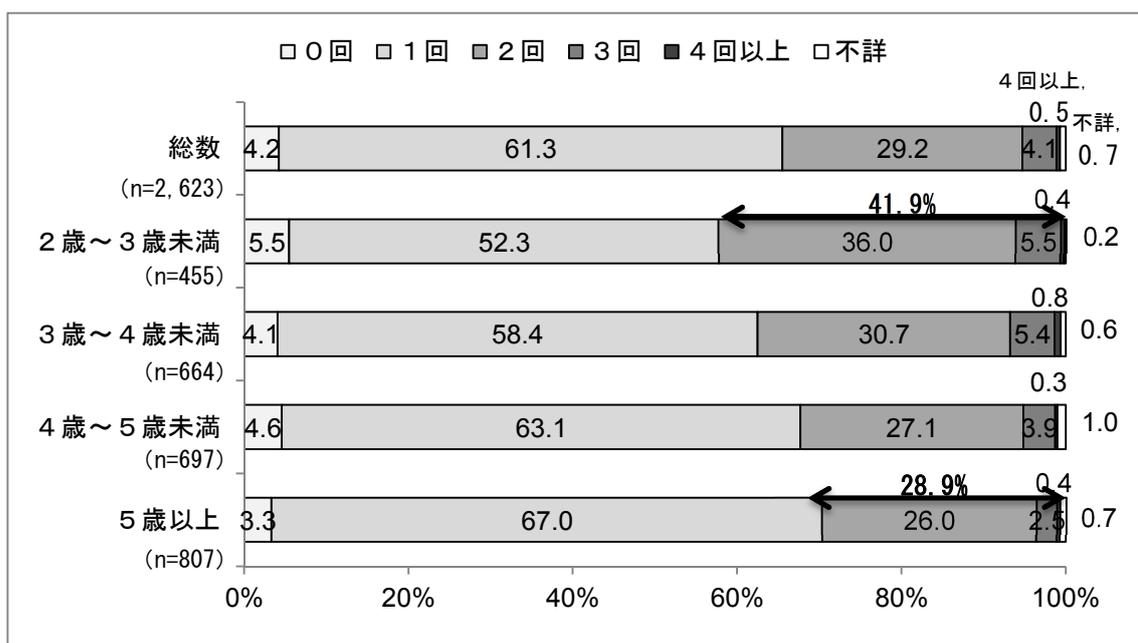


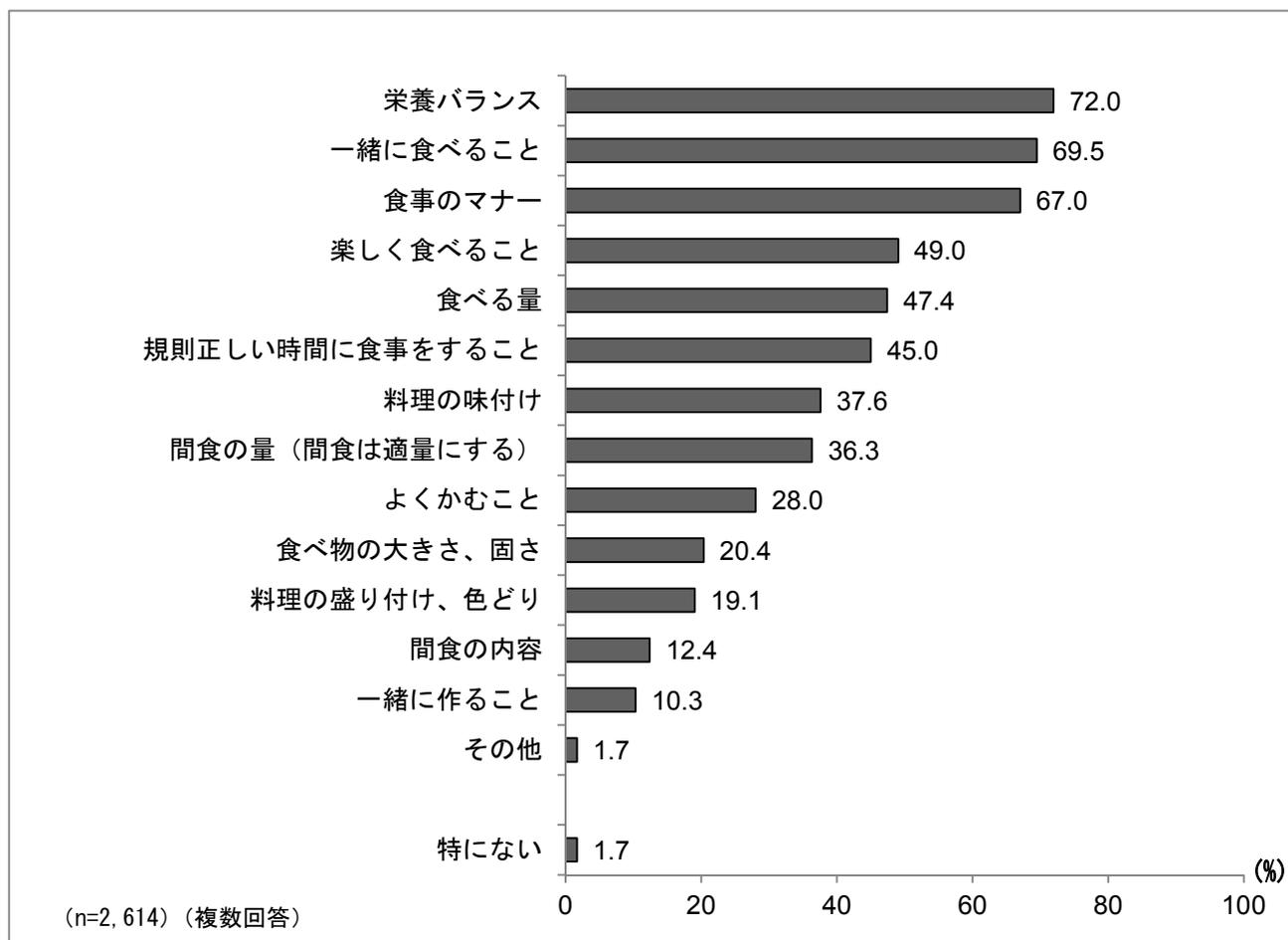
図14 子どもの間食（3食以外に食べるもの）として甘い飲み物やお菓子を1日にとる回数（回答者：2～6歳児の保護者）



### (3) 子どもの食事で特に気をつけていること

子どもの食事で特に気をつけていることは、「栄養バランス」72.0%、「一緒に食べること」69.5%、「食事のマナー」67.0%の順だった。子どもの食事で特に気をつけていることは「特にない」と回答した者の割合は1.7%であり、ほとんどの保護者は子どもの食事について、何らかの気をつけていることがあった。

図 15 子どもの食事で特に気をつけていること（回答者：2～6歳児の保護者）

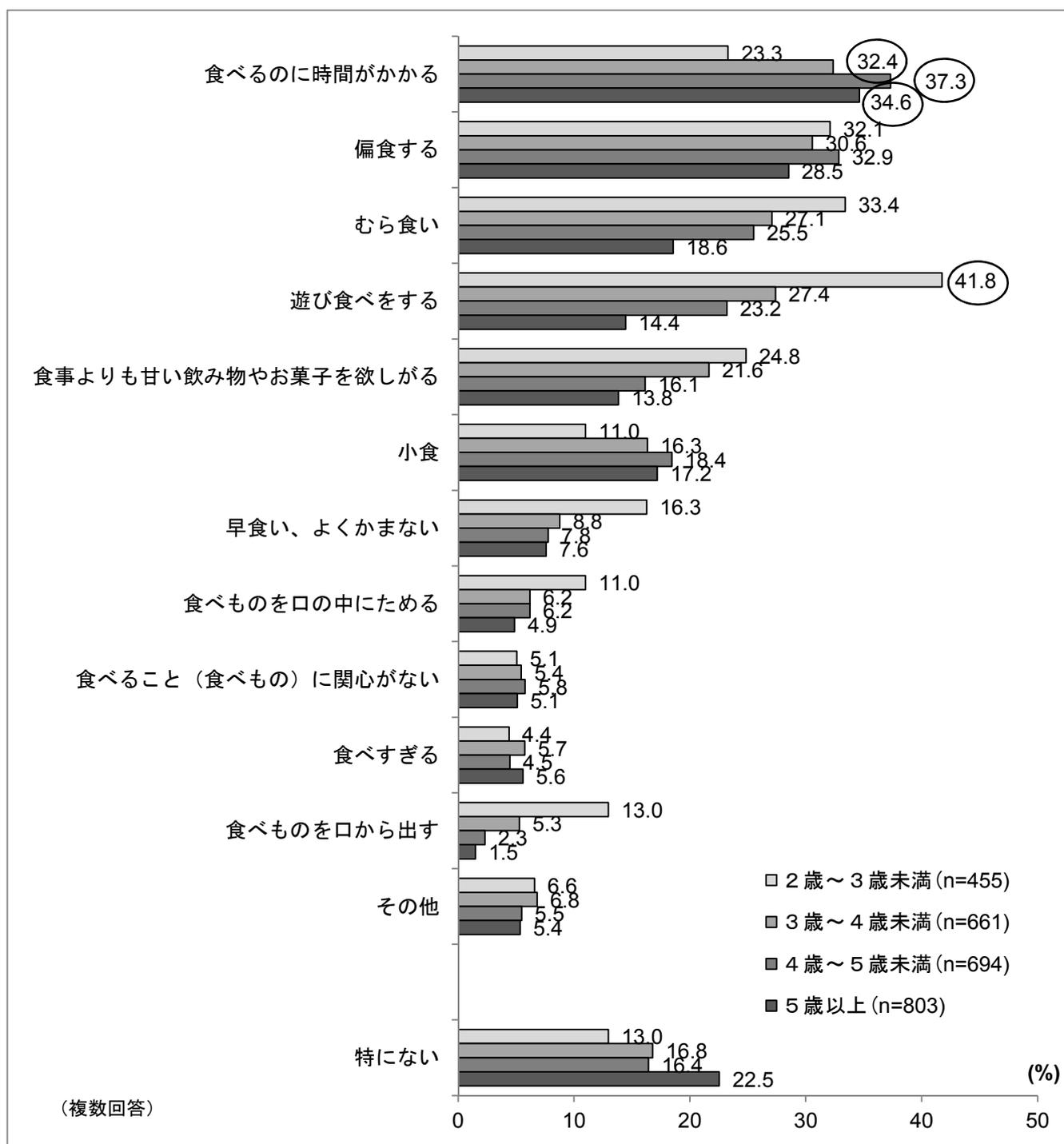


#### (4) 現在子どもの食事について困っていること

現在子どもの食事について困っていることは、2歳～3歳未満では「遊び食べをする」と回答した者の割合が41.8%と最も高く、3歳～4歳未満、4歳～5歳未満、5歳以上では「食べるのに時間がかかる」と回答した者の割合が最も高く、それぞれ32.4%、37.3%、34.6%であった。

「特にない」と回答した者の割合が最も高い5歳以上でも、22.5%であり、約8割の保護者が子どもの食事について困りごとを抱えていた。

図16 現在子どもの食事で困っていること（回答者：2～6歳児の保護者）



## 第2部 乳幼児の生活習慣や健康状態に関する状況

### 1 生活習慣に関する状況について

#### (1) 起床時刻・就寝時刻

起床時刻については、子どもは平日、休日とも「午前7時台」（平日 43.5%、休日 46.3%）と回答した割合が最も高く、保護者は平日が「午前6時台」47.8%、休日が「午前7時台」38.7%と回答した割合が最も高かった。就寝時刻については、子どもは平日、休日とも「午後9時台」（平日 48.7%、休日 48.1%）と回答した割合が最も高く、保護者は平日、休日ともが「午後11時台」（平日 27.8%、休日 29.9%）と回答した割合が最も高かった。

保護者の就寝時刻別に、午後10時以降に就寝する子どもの割合をみると、平日、休日とも保護者の就寝時刻が「深夜1時以降」で、平日 35.0%、休日 45.3%と最も高かった。

図17 子どもと保護者の起床時刻（平日、休日）（回答者：0～6歳児の保護者）

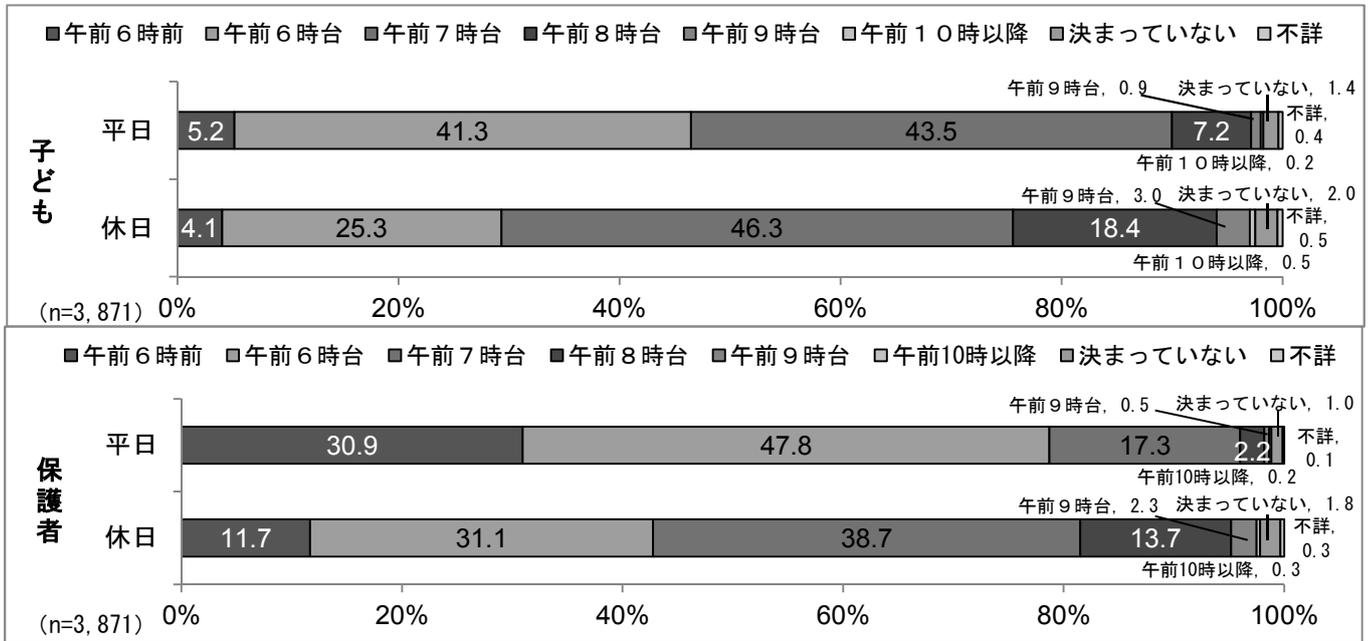


図18 子どもと保護者の就寝時刻（平日、休日）（回答者：0～6歳児の保護者）

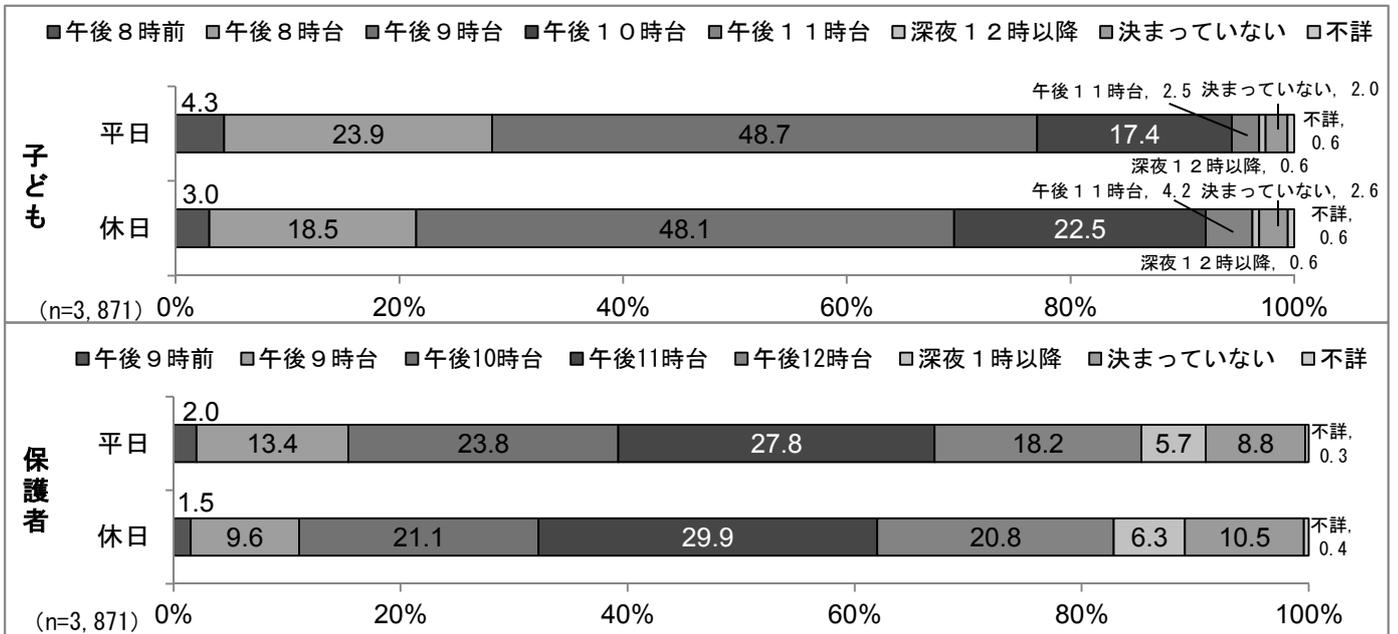
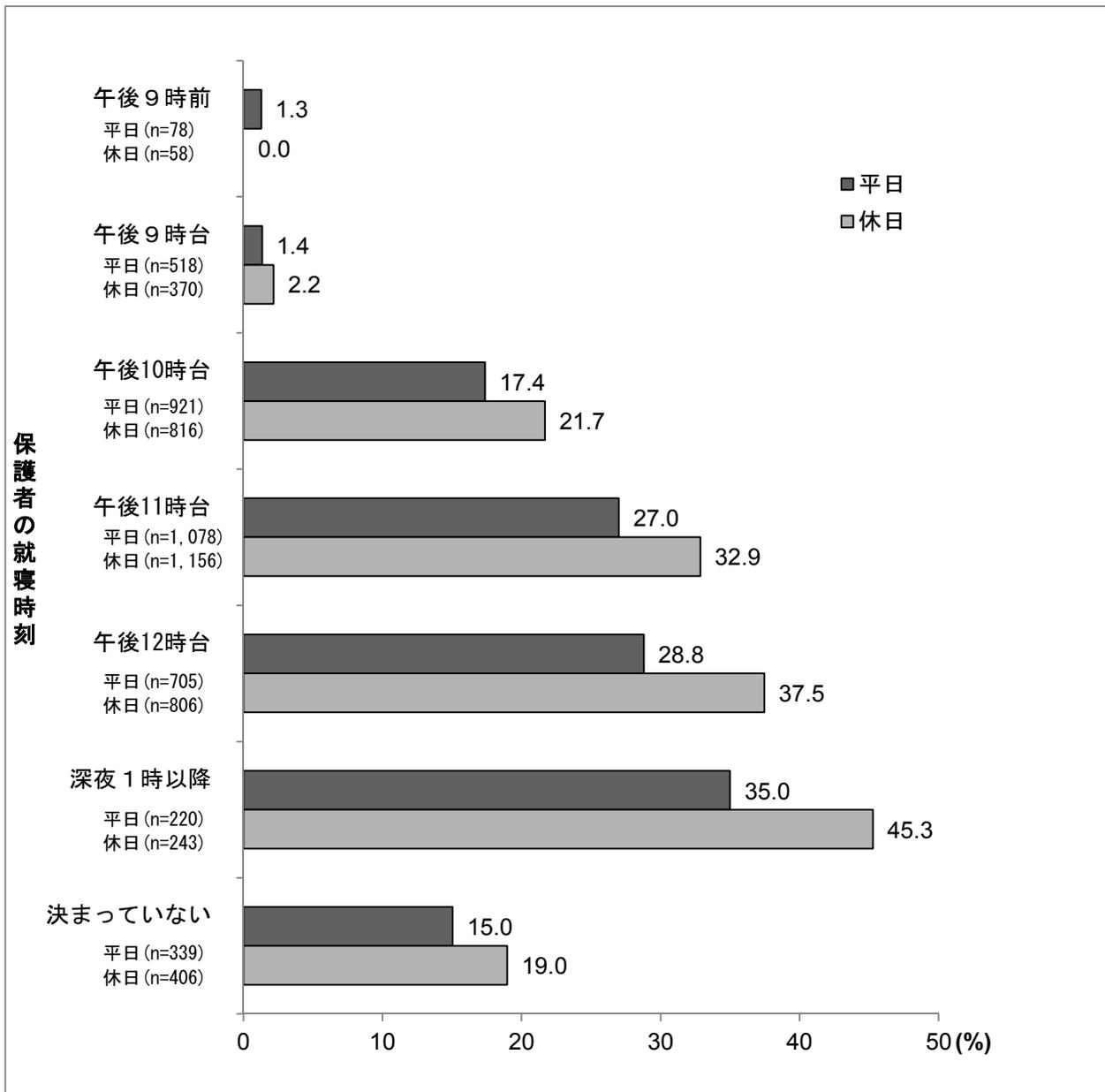


図 19 保護者の就寝時刻（平日、休日）別 午後 10 時以降に就寝する子どもの割合  
 （回答者：0～6 歳児の保護者）

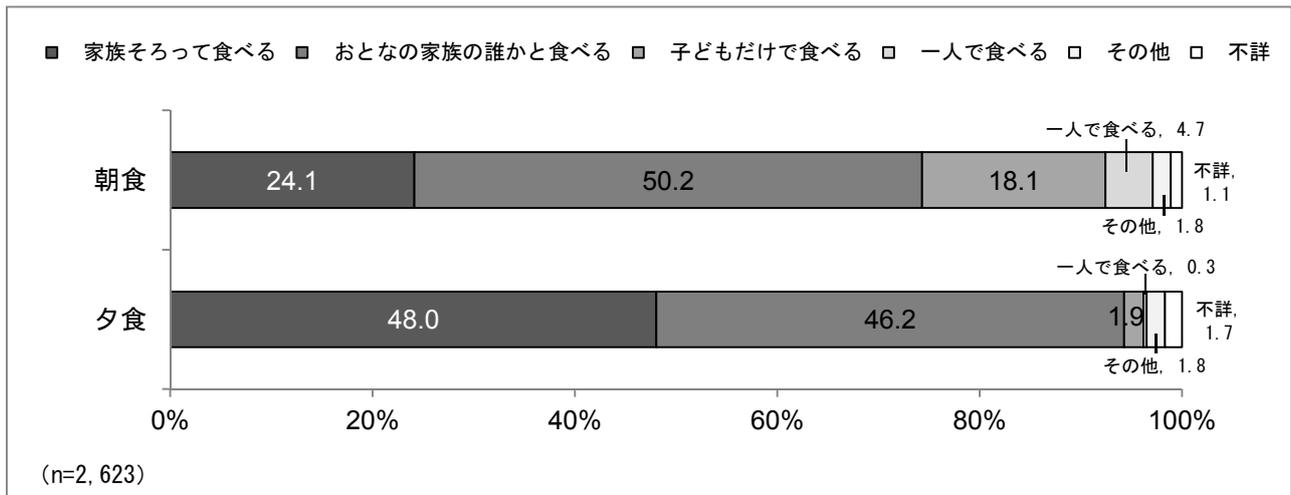


## (2) 共食の状況

子どもの共食の状況について、朝食は「おとなの家族の誰かと食べる」と回答した者の割合が50.2%と最も高く、夕食は「家族そろって食べる」と回答した者の割合が48.0%と最も高かった。

健やか親子21（第2次）で参考とする指標としている「家族など誰かと食事をする子どもの割合」と同様の算出方法を用いると、「家族など誰かと食事をする子どもの割合」は、朝食は95.2%、夕食は99.7%であった。

図20 子どもの共食（朝食・夕食）の状況（回答者：2～6歳児の保護者）



<参考> 健やか親子21（第2次）参考とする指標

指標名：家族など誰かと食事をする子どもの割合		
ベースライン		目標
	朝食	夕食
・小学校5年生	84.0%	97.7%
・中学校2年生	64.6%	93.7%
(平成22年度)		設定なし

調査：平成22年度児童生徒の食事状況等調査（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

設問：いつもどのように食事をしていますか。朝食及び夕食について、

「1 家族そろって食べる」、「2 おとなの家族の誰かと食べる」、「3 子どもだけで食べる」、

「4 一人で食べる」、「5 その他」のうち、1つ選んで○をつけてください

算出方法：「1 家族そろって食べる」、「2 おとなの家族の誰かと食べる」、「3 子どもだけで食べる」の総数を、1～4の合計した数字で除す。

上記算出方法を用いた「家族など誰かと食事をする子どもの割合」

朝食：「1 家族そろって食べる(633)」+「2 おとなの家族の誰かと食べる(1,316)」+「3 子どもだけで食べる(476)」  
 $\div 1 \sim 3 + \text{「4 一人で食べる(122)」} \times 100 = \underline{95.2\%}$

夕食：「1 家族そろって食べる(1,260)」+「2 おとなの家族の誰かと食べる(1,213)」+「3 子どもだけで食べる(50)」  
 $\div 1 \sim 3 + \text{「4 一人で食べる(8)」} \times 100 = \underline{99.7\%}$

### (3) 朝食習慣

毎日、朝食を「必ず食べる」と回答した子どもの割合は93.3%、保護者の割合は81.2%であり、欠食する子どもの割合は6.4%、保護者の割合は18.6%であった。

朝食を必ず食べる子どもの割合について、保護者の朝食習慣別にみると、保護者が朝食を「必ず食べる」と回答した場合は、朝食を必ず食べる子どもの割合が最も高く95.4%だった。一方、保護者が朝食を「ほとんど食べない」「全く食べない」と回答した場合は、朝食を必ず食べる子どもの割合がそれぞれ78.9%、79.5%と8割を下回っていた。

図21 朝食習慣（子ども・保護者）（回答者：子ども2～6歳児の保護者、保護者0～6歳児の保護者）

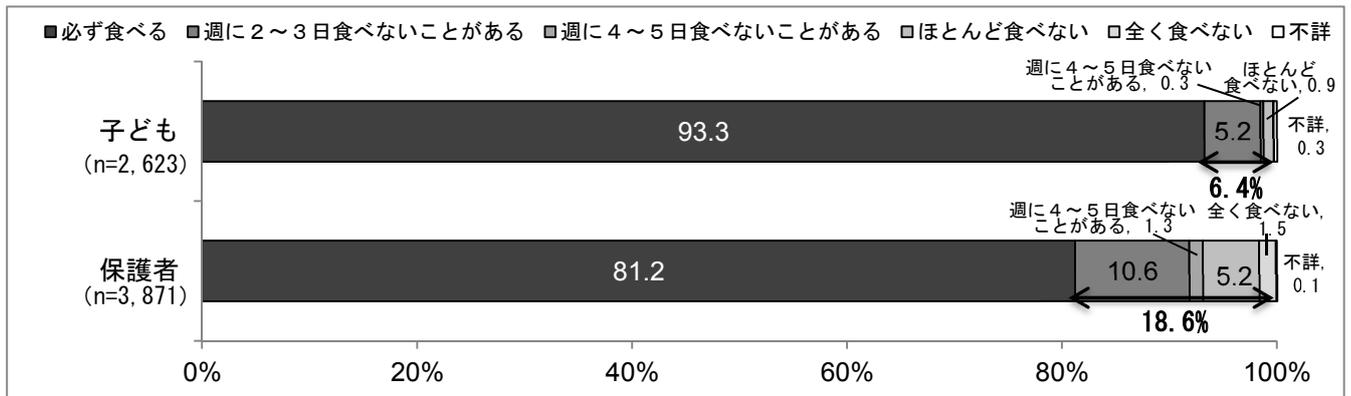
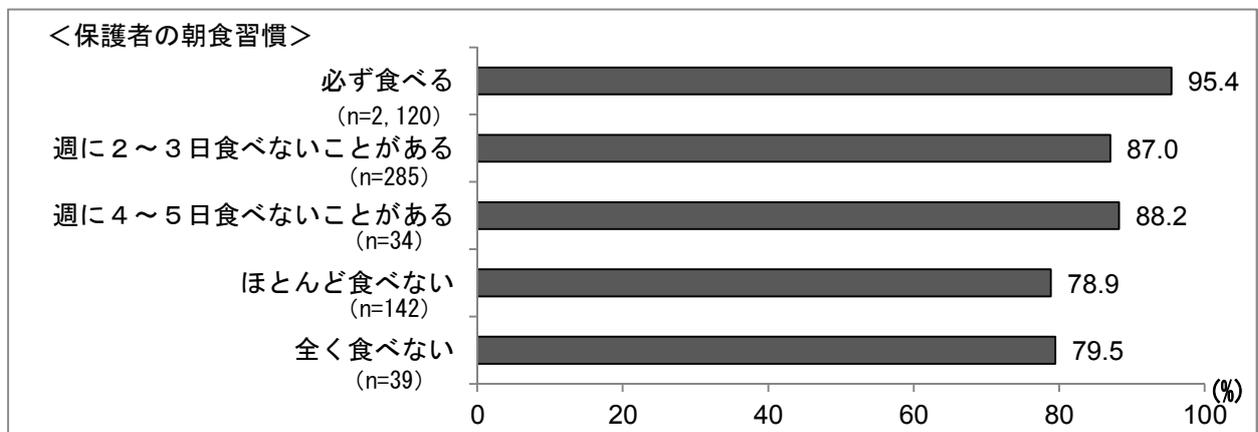


図22 保護者の朝食習慣別 朝食を必ず食べる子どもの割合（回答者：2～6歳児の保護者）



#### <参考> 健やか親子21（第2次）

指標名：朝食を欠食する子どもの割合		
ベースライン	中間評価（5年後）目標	最終評価（10年後）目標
小学5年生 9.5% 中学2年生 13.4% （平成22年度）	小学5年生 5.0% 中学2年生 7.0%	中間評価時に設定

調査：平成22年度児童生徒の食事状況等調査（独立行政法人日本スポーツ振興センター）

設問：あなたは、毎日朝食を食べますか。1つ選んで○をつけてください。

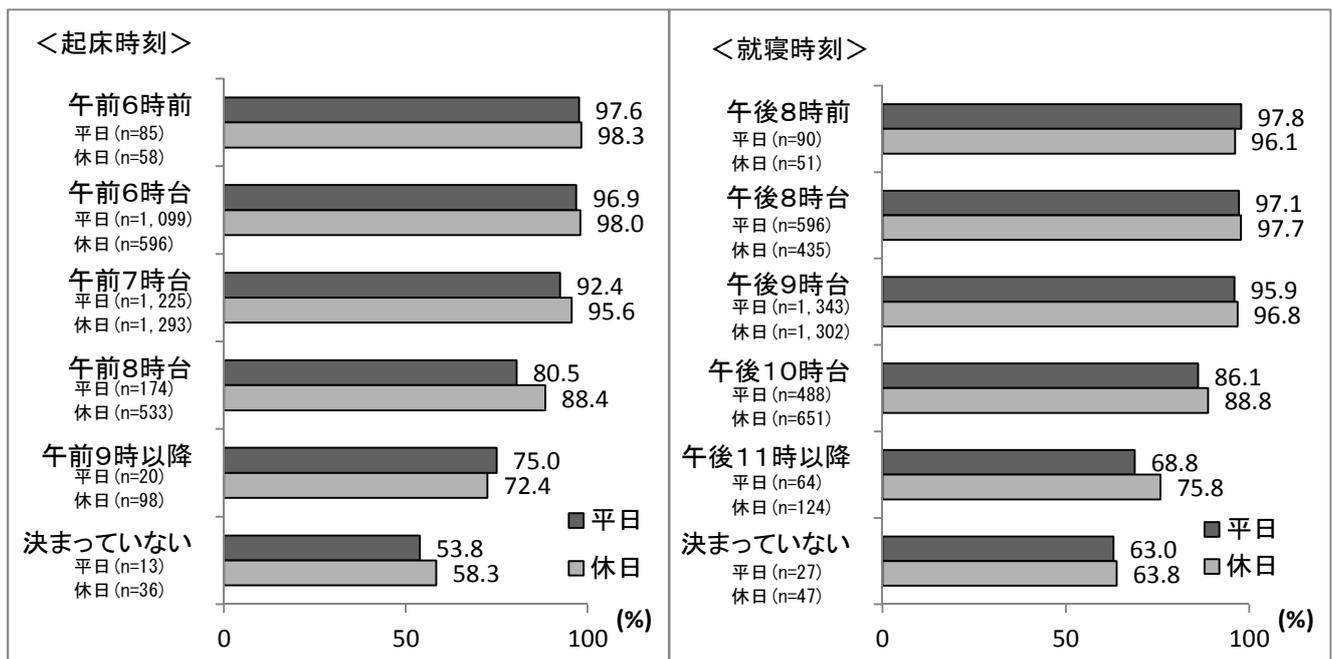
- ( 1 必ず毎日食べる      2 1週間に2～3日食べないことがある  
 3 1週間に4～5日食べないことがある      4 ほとんど食べない )

算出方法：「1 必ず毎日食べる」以外の割合をもって朝食を欠食する子どもの割合として算出。

朝食を必ず食べる子どもの割合について、子どもの起床時刻別にみると、平日、休日とも、「午前6時前」と最も早い起床時刻で、平日 97.6%、休日 98.3%と最も高かった。子どもの就寝時刻別では、平日は「午後8時前」（97.8%）、休日は「午後8時台」（97.7%）で最も高かった。

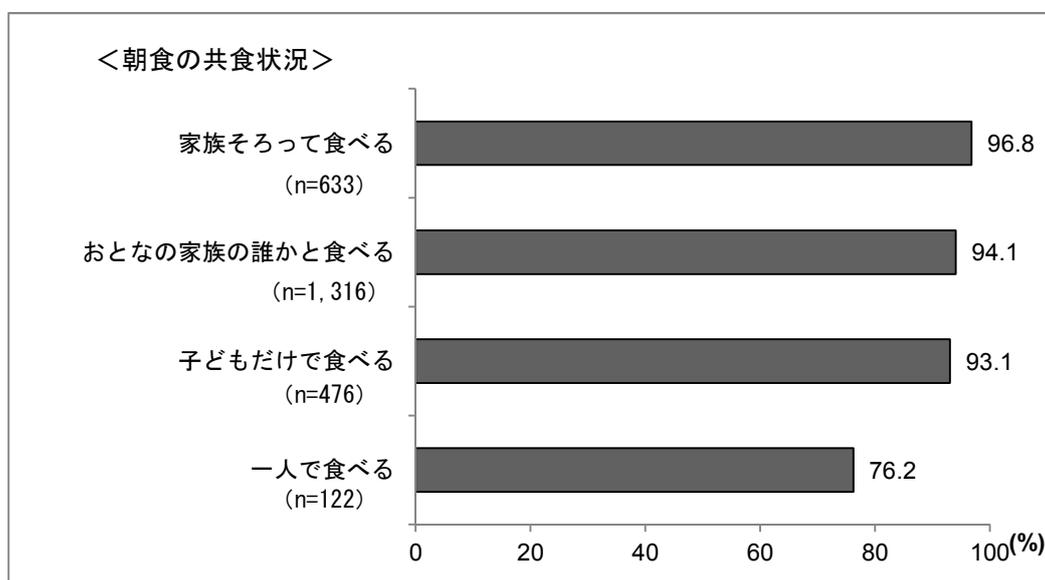
朝食の共食状況別にみると、朝食を「家族そろって食べる」で96.8%と最も高く、「ひとりで食べる」では76.2%であった。

図 23 子どもの起床時刻・就寝時刻（平日、休日）別 朝食を必ず食べる子どもの割合  
（回答者：2～6歳児の保護者）



※起床時刻「午前9時以降」は「午前9時台」と「午前10時以降」の合計。就寝時刻「午後11時以降」は、「午後11時台」と「深夜12時以降」の合計。

図 24 朝食の共食状況別 朝食を必ず食べる子どもの割合（回答者：2～6歳児の保護者）



#### (4) 運動と身体活動の状況

保育所等の活動も含めた運動（外遊びも含む）の頻度について、「1週間に5日より多くしている」と回答した者の割合が最も高く、70.0%であった。年齢階級別にみると、2歳～3歳未満が「1週間に5日より多くしている」と回答した者の割合が最も低く、52.5%であった。

1日に平均で体を動かしている時間は、平日、休日とも「1時間以上2時間未満」（平日 36.6%、休日 34.0%）と回答した割合が最も高く、1日1時間以上体を動かしている子どもの割合は平日 78.4%、休日 64.2%であった。

図 25 保育所等の活動も含めた運動（外遊びも含む）の頻度（回答者：2～6歳児の保護者）

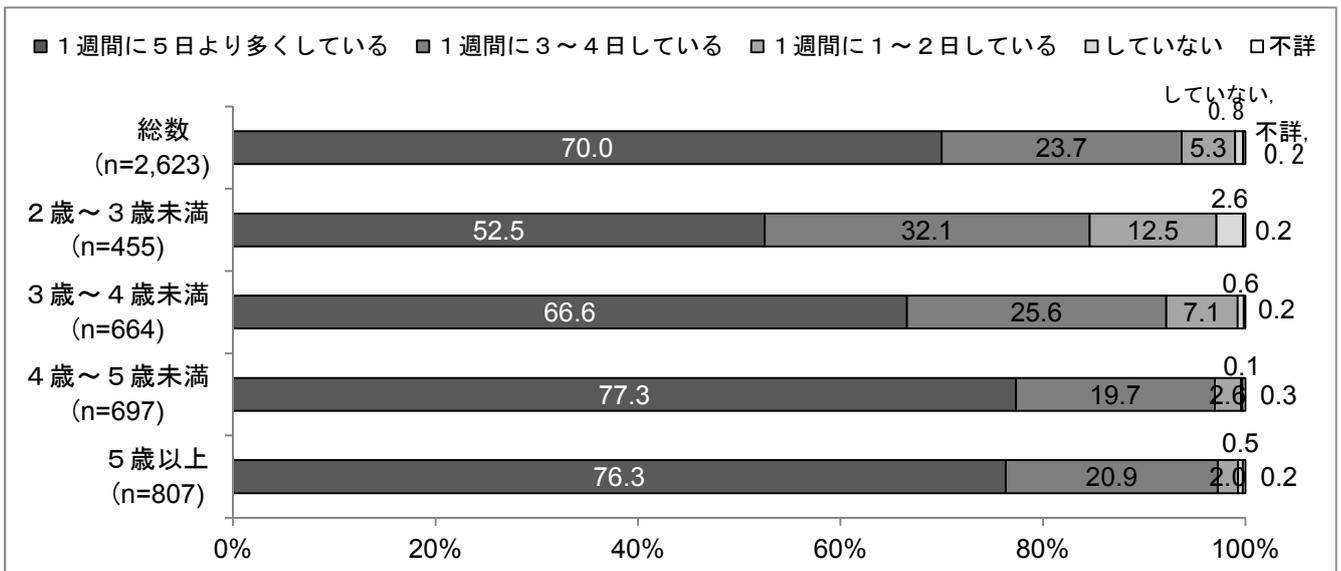
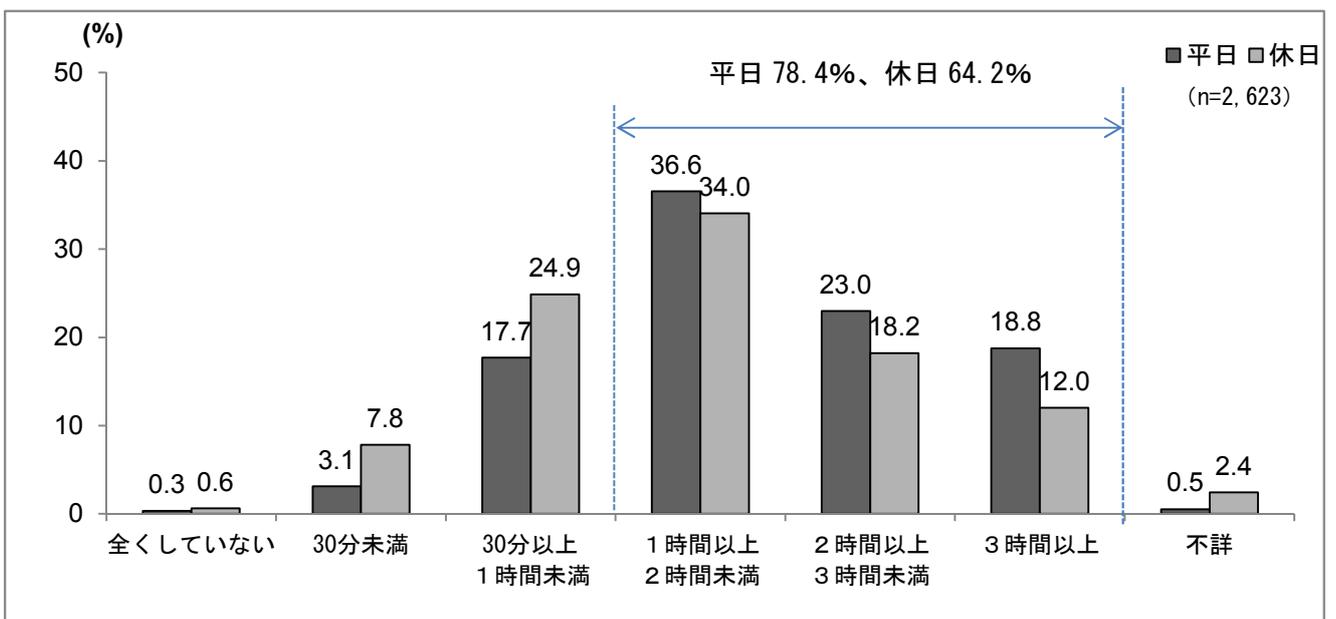


図 26 1日に平均で体を動かしている時間\*（平日・休日）（回答者：2～6歳児の保護者）

\*全身を使った遊び・運動（鬼ごっこ、かくれんぼ、ボール遊び、すべり台、砂遊びなど）、通園時の歩行や散歩などが含まれます。



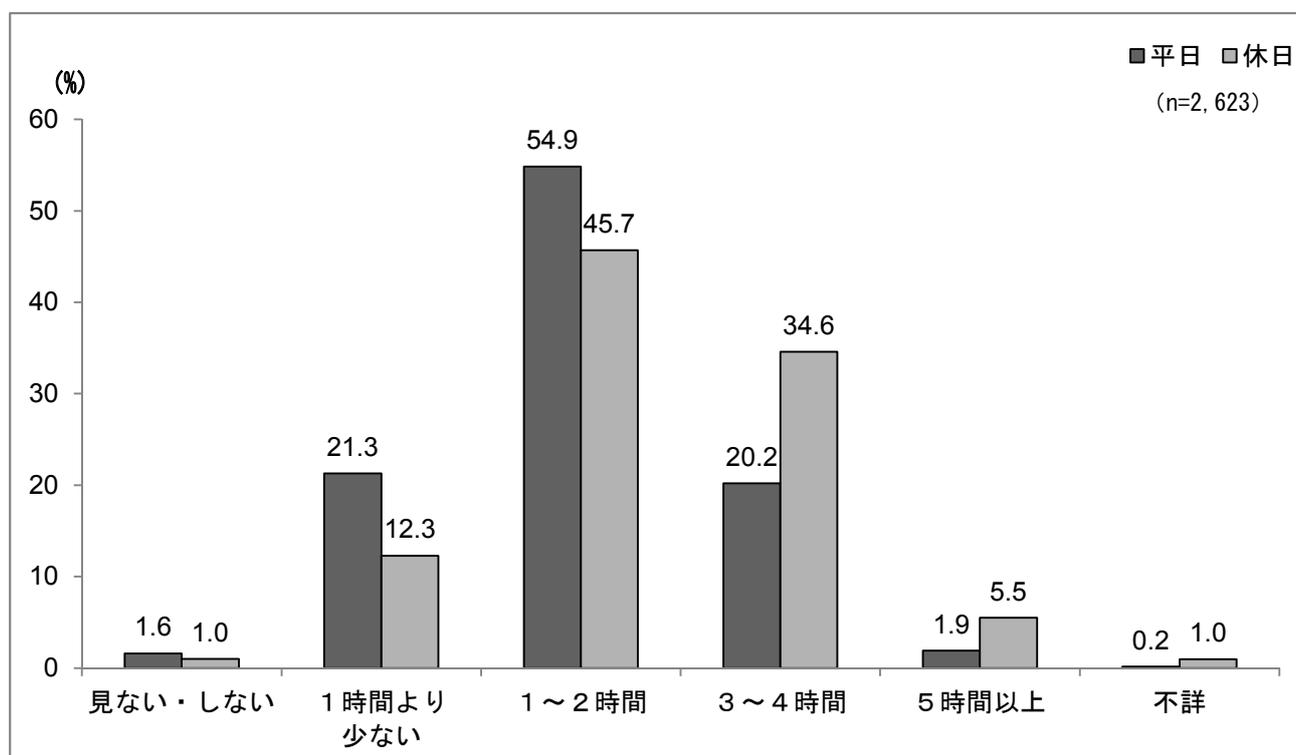
<参考> 幼児は様々な遊びを中心に、毎日、合計 60 分以上、楽しく体を動かすことが大切です！

（幼児期運動指針、文部科学省、平成 24 年 3 月）

## (5) テレビやビデオを見る時間、ゲーム機やタブレット等を使用する時間

家で1日に平均でテレビやビデオを見る時間、ゲーム機やタブレット等を使用する時間は、平日、休日とも「1～2時間」(平日 54.9%、休日 45.7%)と回答した割合が最も高かった。平日で約2割、休日で約4割の子どもが、1日平均で3時間以上テレビやビデオを見たり、ゲーム機やタブレット等を使用したりしていた。

図 27 1日に平均でテレビやビデオを見る時間、ゲーム機やタブレット等を使用する時間(平日、休日)  
(回答者：2～6歳児の保護者)



## 2. 健康状態に関する状況について

### (1) 子どもの肥満度と保護者の子どもの体格に関する認識

幼児身長体重曲線を用いた評価による肥満度は、ふつう（肥満度±15%）の子どもの割合が92.4%であり、ふつうより肥満度が高い（肥満度+15%以上）子どもの割合が4.9%、ふつうより肥満度が低い（肥満度-15%以下）子どもの割合が2.7%であった。

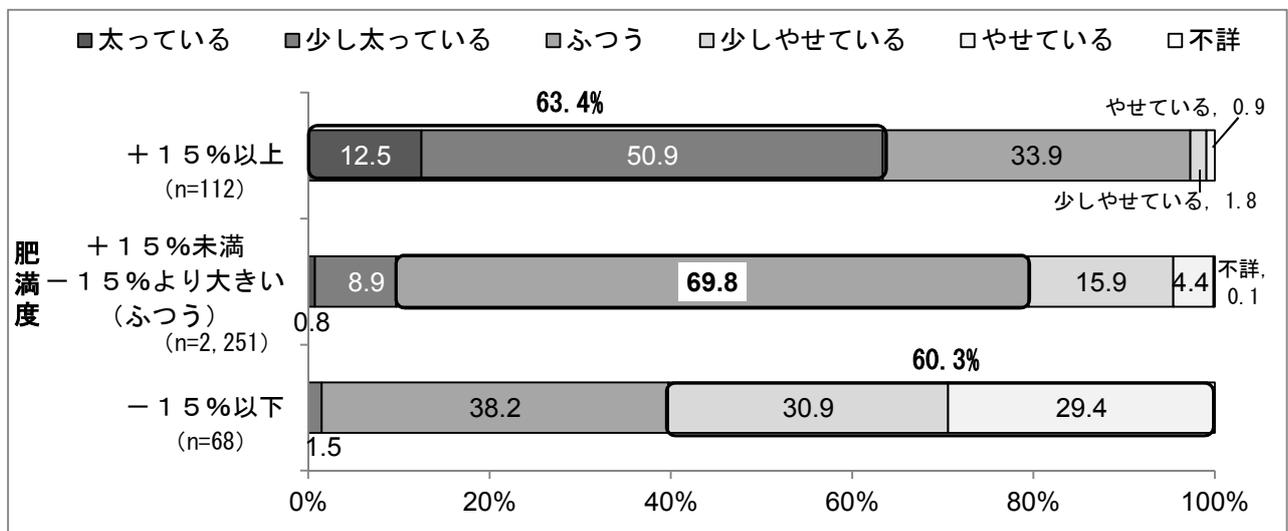
肥満度がふつうの子どものについて、保護者の子どもの体格の認識も「ふつう」と一致している割合は、69.8%であり、約3割の保護者は子どもの体格の認識に相違があった。また、ふつうより肥満度が高い子ども、ふつうより肥満度が低い子どもでは、保護者の認識が一致している割合は、63.4%、60.3%であり、約4割の保護者は子どもの体格の認識に相違があった。

表3 子どもの肥満度（回答者：1～6歳児の保護者）

年齢階級	総数		肥満度 +15%以上		肥満度 +15%未満 -15%より大きい (ふつう)		肥満度 -15%以下		不詳 人数
	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	
総数	3,020	100.0	148	4.9	2,790	92.4	82	2.7	350
1歳～2歳未満	489	100.0	30	6.1	448	91.6	11	2.2	134
2歳～3歳未満	493	100.0	28	5.7	454	92.1	11	2.2	86
3歳～4歳未満	620	100.0	22	3.5	588	94.8	10	1.6	44
4歳～5歳未満	655	100.0	30	4.6	607	92.7	18	2.7	42
5歳以上	763	100.0	38	5.0	693	90.8	32	4.2	44

※自己申告による身長・体重より肥満度を算出／1歳以上を対象として集計

図28 肥満度別 保護者の子どもの体格に関する認識（回答者：2～6歳児の保護者）



## (2) むし歯の状況

むし歯が「ある」と回答した者の割合は19.2%で、むし歯の本数は、「1本」が最も多く32.4%であり、「2本」27.8%、「3本」13.7%の順だった。

むし歯の有無別に、間食の与え方をみると、「時間を決めてあげることが多い」「甘いものは少なくしている」「間食でも栄養に注意している」と回答した者の割合は、むし歯がない子どものほうが高く、「欲しがるときにあげることが多い」「甘い飲み物やお菓자에偏ってしまう」「特に気をつけていない」と回答した者の割合は、むし歯のある子どものほうが高かった。また、むし歯予防のための行動として、「間食の与え方について注意している」と回答した者の割合は、むし歯がない子どものほうが高かった。

図 29 むし歯の有無（回答者：2～6歳児の保護者）

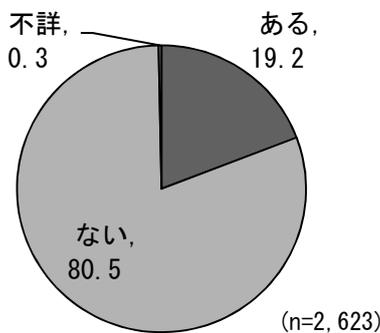


図 30 むし歯の本数（回答者：2～6歳児の保護者）

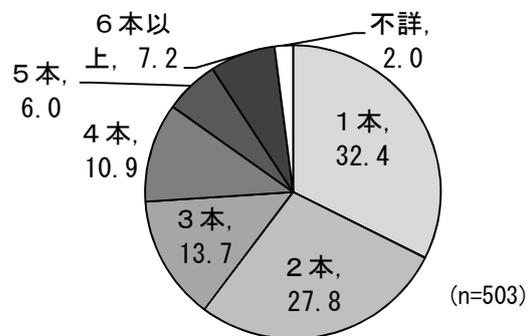


図 31 むし歯の有無別 間食の与え方（回答者：2～6歳児の保護者）

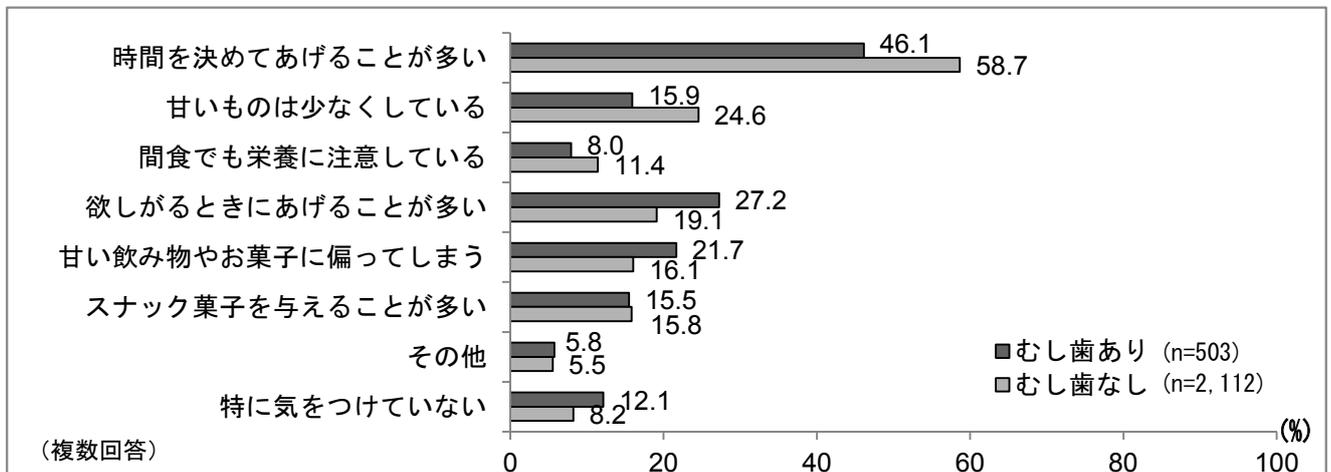
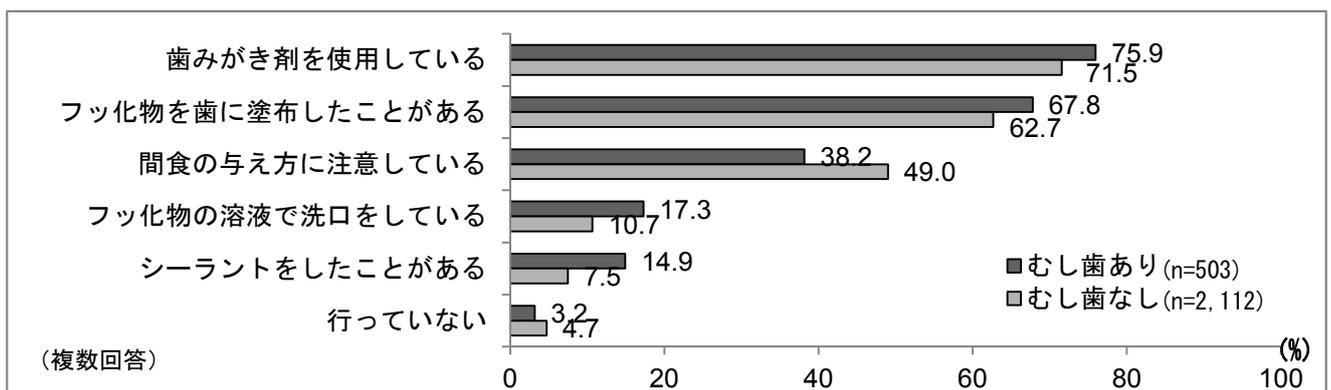


図 32 むし歯の有無別 むし歯予防のための行動（回答者：2～6歳児の保護者）



### (3) 排便の状況

子どもの排便の頻度について、「ほぼ毎日排便がある」と回答した者の割合は76.2%であり、約25%の子どもの排便の頻度は、ほぼ毎日ではなかった。

子どもの起床時間別に、ほぼ毎日排便がある子どもの割合をみると、平日・休日のいずれも、「午前6時前」と最も早く起床している子どもが、平日82.0%、休日82.2%と最も高かった。

図 33 排便習慣（回答者：0～6歳児の保護者）

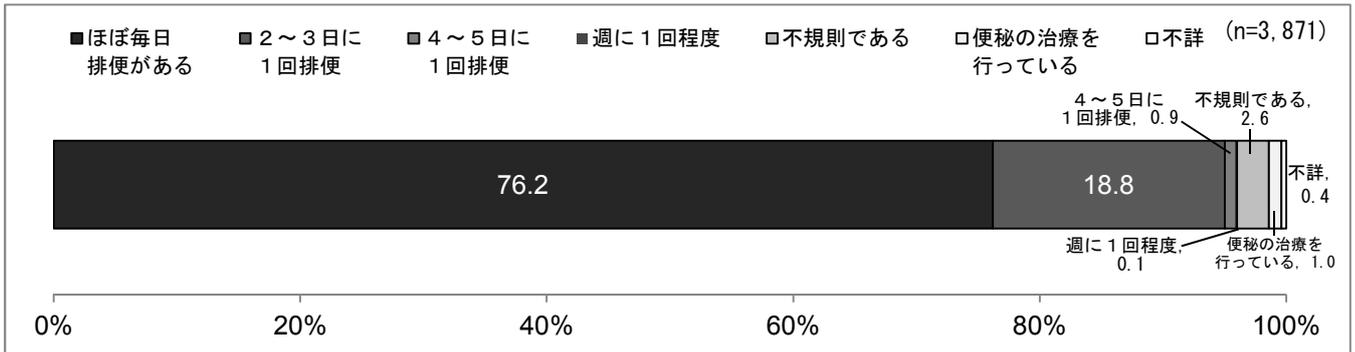
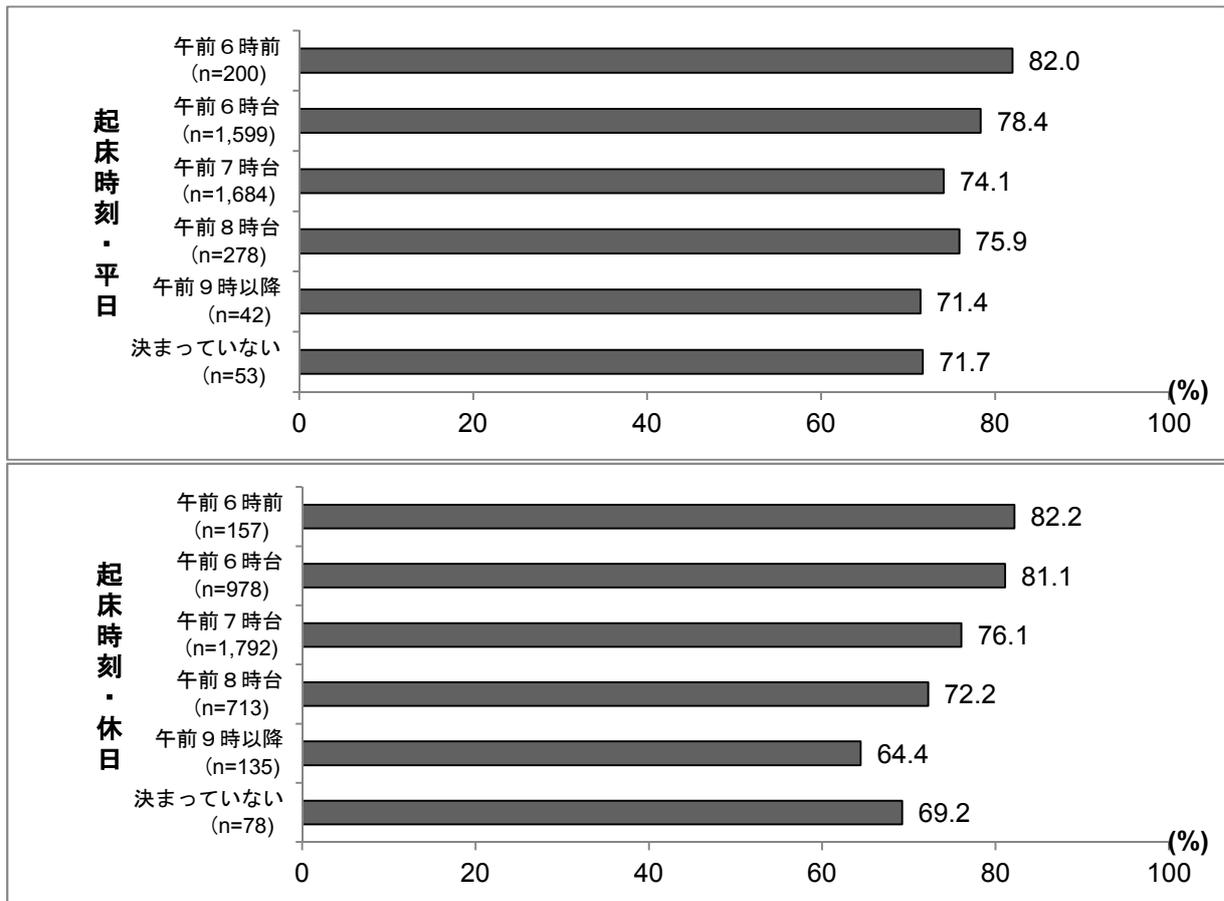


図 34 子どもの起床時刻（平日・休日）別 ほぼ毎日排便習慣がある子どもの割合（回答者：0～6歳児の保護者）



※起床時刻「午前9時以降」は「午前9時」と「午前10時以降」の合計

### 第3部 食物アレルギーや社会経済的要因に関する状況

#### 1 食物アレルギーに関する状況について

##### (1) 食物アレルギーの状況

これまでに、食事が原因と思われるアレルギー症状を起こしたことがある者の割合は、14.8%だった。そのうち、医療機関を受診した者の割合は87.8%で、医療機関を受診した際に、「食物アレルギー」と医師に判断された者は76.1%だった。一方、食事が原因と思われるアレルギー症状を起こしたことがある者のうち、11.2%は医療機関を受診していなかった。医療機関を受診しなかった者は、食事が原因と思われるアレルギー症状を起こしたときの対応として、「あなたの母親など家族に相談した」と回答した者の割合が最も高く、43.8%だった。

図 35 食物アレルギーの状況（回答者：0～6歳児の保護者）

①これまで、食事が原因と思われるアレルギー症状を起こしたことがありますか。(n=3,871) (%)



図 35②

【①で「はい」と回答した方】

②①の状況が発生したとき、医療機関を受診しましたか。(n=573) (%)

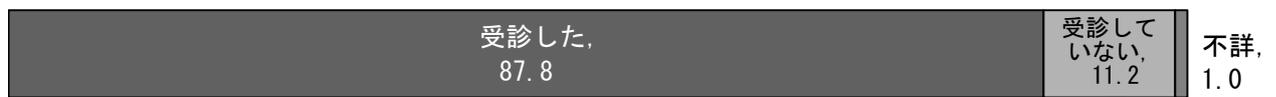


図 35③

図 35④

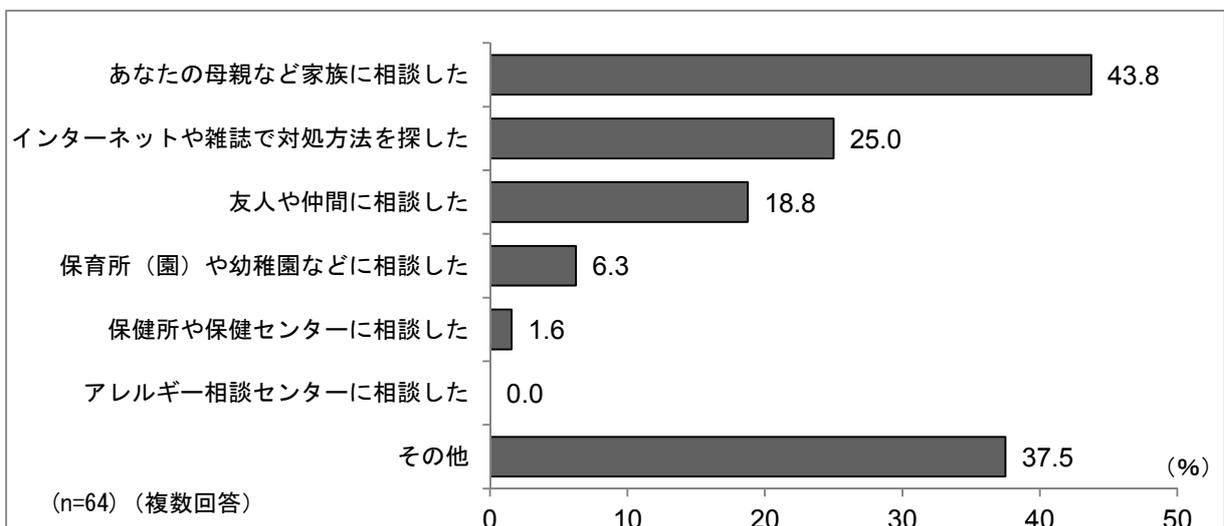
【②で「受診した」と回答した方】

③お子さんは「食物アレルギー」と医師に判断されましたか。(n=503) (%)



【②で「受診していない」と回答した方】

④①の状況が発生したとき、どのような対応をとりましたか。



## (2) 食物アレルギーの対応

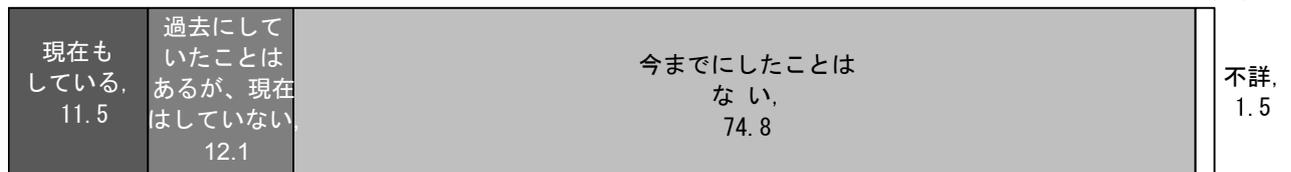
食物アレルギーの原因（と思われる）食物を食べないように除去したり、制限したりしたことがある者（「現在もしている」と「過去にしていたことはあるが、現在はしていない」と回答した者の合計。）の割合は、23.6%だった。そのうち、食事制限や食物除去を医師の指示で行った者の割合は46.4%であり、約4割は医師の指示ではなかった。

食物アレルギーの原因（と思われる）食物を食べないように除去したり、制限したりしたことがある者が、具体的な食事制限や食物除去の頼りとしている（していた）のは、「医師からの指導」が最も高く52.9%だった。続いて、「インターネットや育児雑誌・書籍などからの情報」33.3%、「あなたの母親など家庭からの情報」20.4%、「友人や仲間からの情報」17.9%の順だった。

食物アレルギーの原因（と思われる）食物を食べないように除去したり、制限したりしたことについて、「過去にしていたことはあるが、現在はしていない」と回答した者のうち、食事制限や食物除去の中止（解除）を、医師の指示で行った者の割合は、39.0%であり、約6割は医師の指示ではなかった。

図 36 食物アレルギーの対応（回答者：0～6歳児の保護者）

① これまでに、食物アレルギーの原因（と思われる）食物を食べないように除去したり、制限したりしたことがありますか。(n=3,871) (%)



↓  
図 36②③

↓  
図 36④

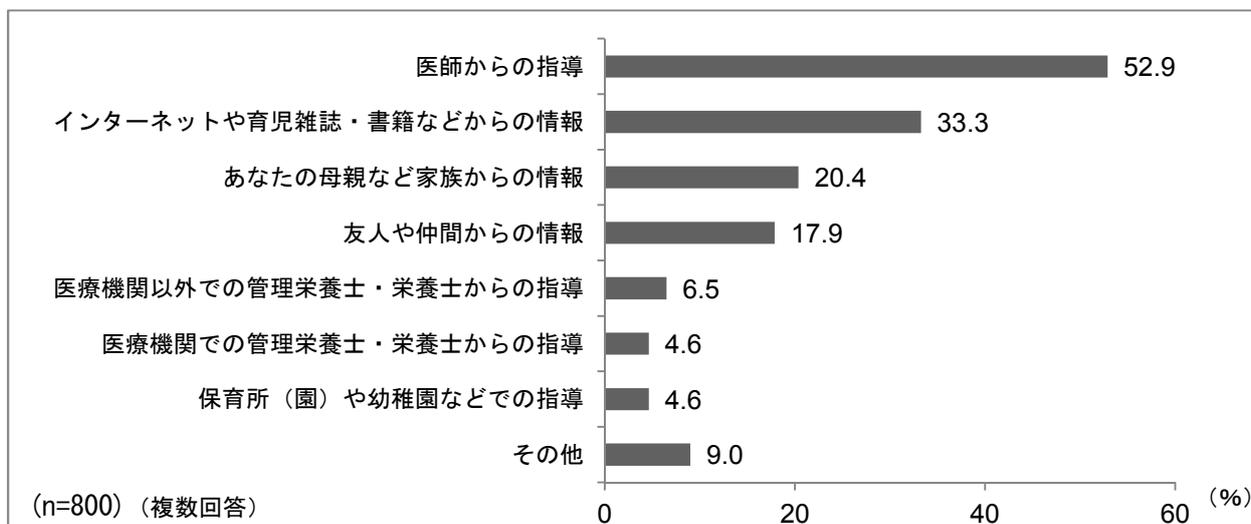
【①で「現在もしている」「過去にしていたことはあるが、現在はしていない」と回答した方】

② 食事制限や食物除去は、医師の指示で行いましたか。(n=914) (%)



【①で「現在もしている」「過去にしていたことはあるが、現在はしていない」と回答した方】

③具体的な食事制限や食物除去は、何を頼りにしていますか。



【①で「過去にしていたことはあるが、現在はしていない」と回答した方】

④上記①の設問で食事制限や食物除去を中止（解除）したのは、医師の指示で行いましたか。(n=467)

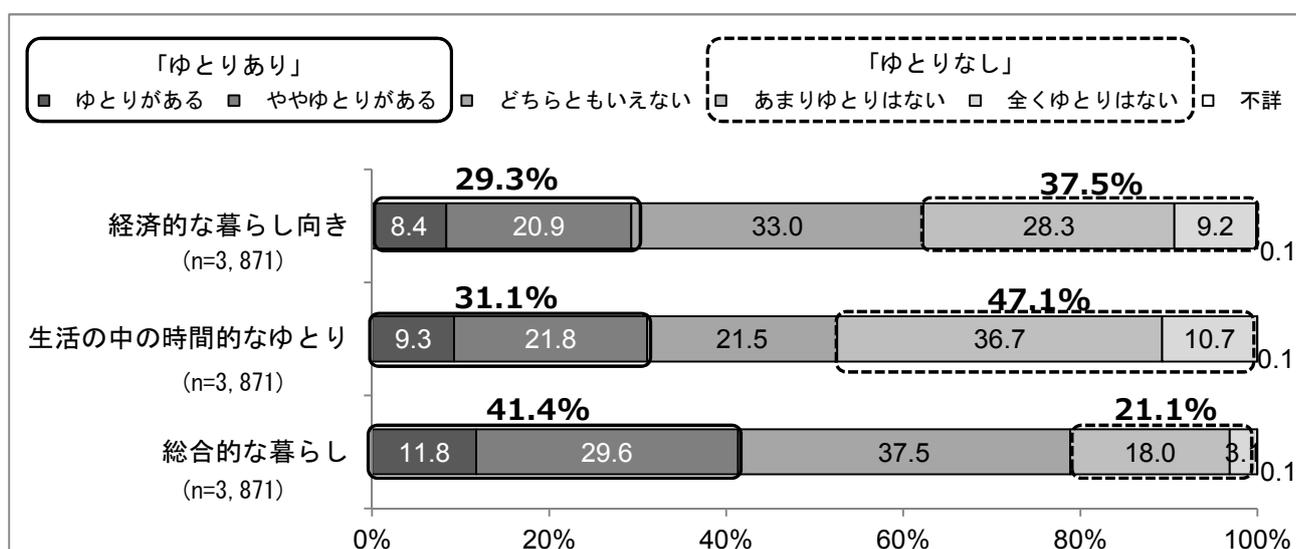


## 2 社会経済的要因に関する状況について

### (1) 社会経済的要因の状況

社会経済的要因として、経済的な暮らし向き、生活の中の時間的なゆとり、総合的な暮らしについて尋ね、「ゆとりあり」（「ゆとりがある」又は「ややゆとりがある」）と回答した者の割合は、それぞれ29.3%、31.1%、41.4%だった。一方、「ゆとりなし」（「あまりゆとりはない」又は「全くゆとりはない」）と回答した者の割合は、それぞれ37.5%、47.1%、21.1%だった。

図 37 経済的な暮らし向き、生活の中の時間的なゆとり、総合的な暮らしの状況  
(回答者：0～6歳児の保護者)



#### 設問：

##### ○経済的な暮らし向き

現在のお子さんのご家族の経済的な暮らし向きについて、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

##### ○生活の中の時間的なゆとり

現在のあなたの生活の中での時間的なゆとりについて、あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

##### ○総合的な暮らし

現在のお子さんのご家族の暮らしを総合的にみて、どう感じていますか。あてはまる番号を1つ選んで○をつけてください。

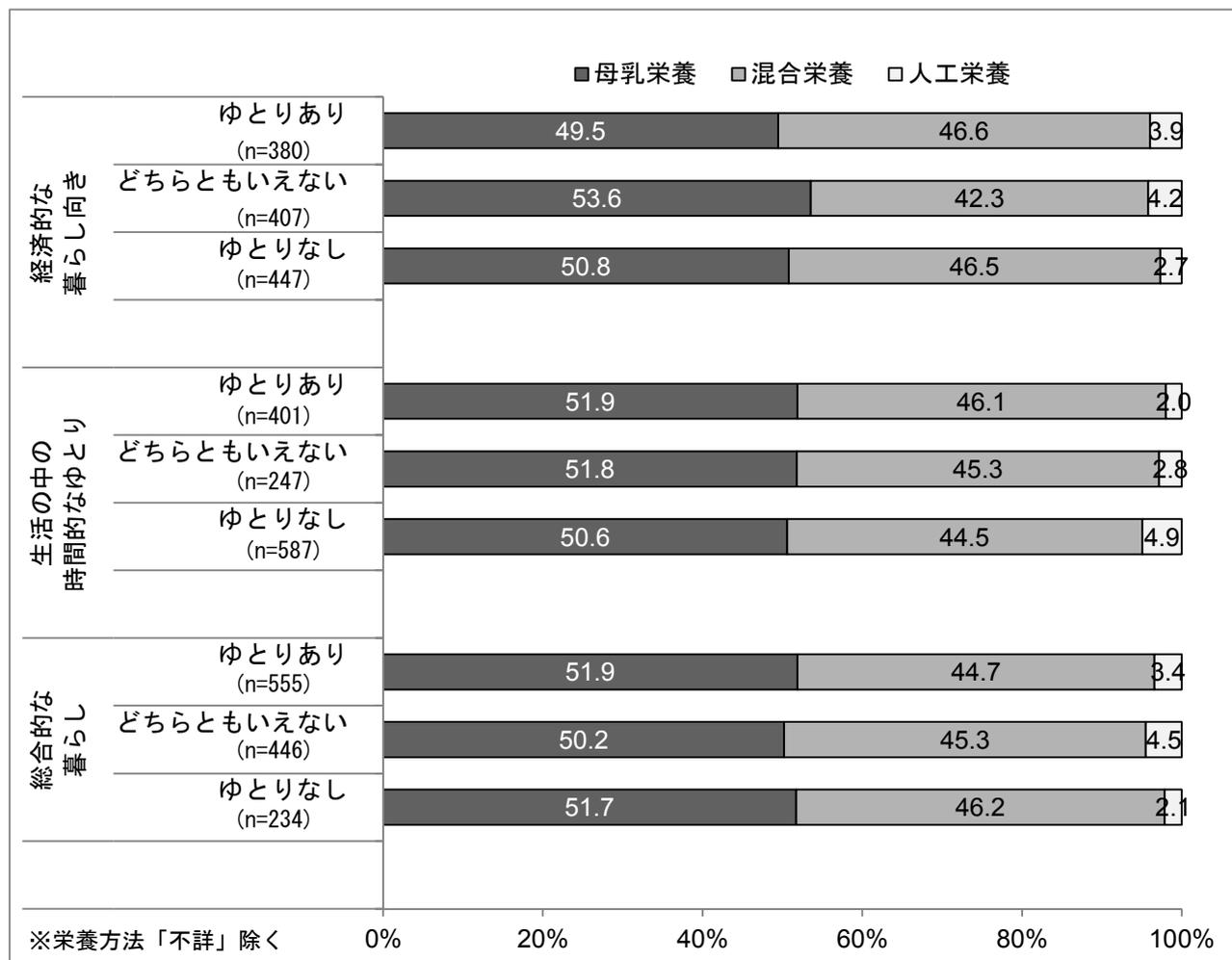
#### 選択肢（共通）：

1. ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. どちらともいえない 4. あまりゆとりはない 5. 全くゆとりはない

## (2) 社会経済的要因と乳児期の栄養方法

社会経済的要因別に乳児期の栄養方法をみると、母乳・混合乳・人工乳の割合は、ほとんど変わらなかった。

図 38 社会経済的要因別 乳児期の栄養方法（1か月）（回答者：0～2歳児の保護者）



### (3) 社会経済的要因と主要食物の摂取頻度

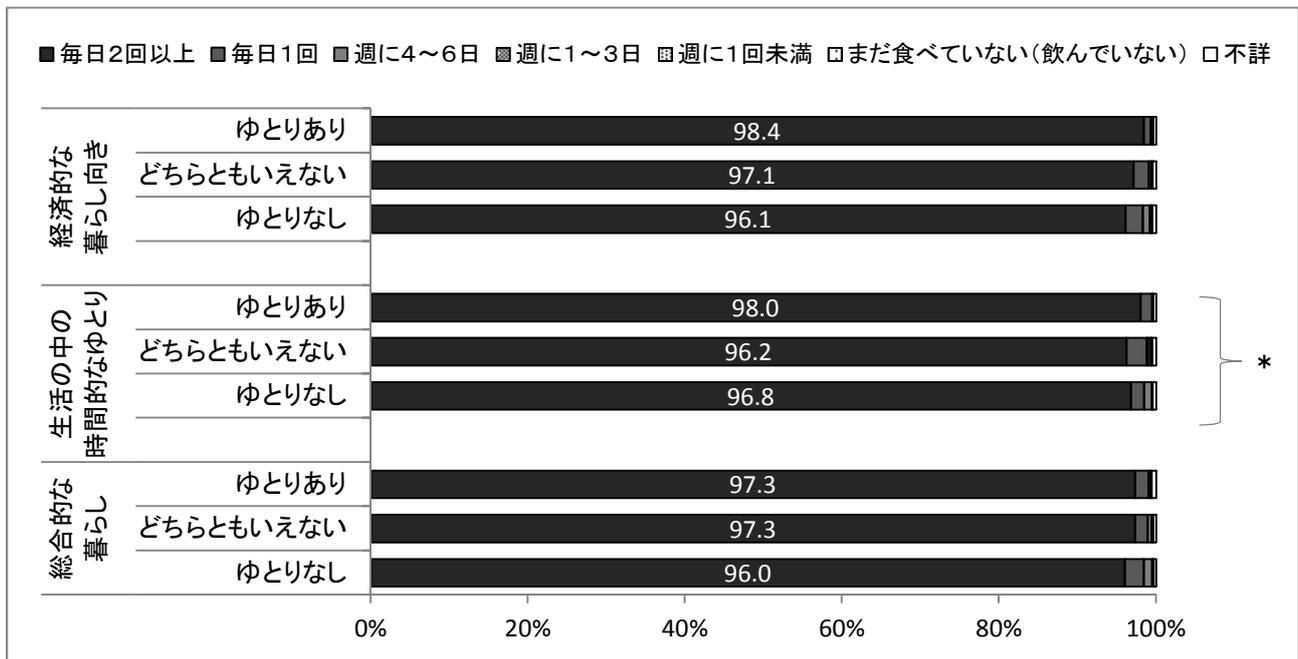
社会経済的要因別に、主要な食物の摂取頻度をみると、経済的な暮らし向きにおいて、有意な差がみられた項目が多かった。

具体的には、魚、大豆・大豆製品、野菜、果物は、経済的な暮らし向きが「ゆとりあり」で摂取頻度が高い傾向がみられ、菓子（菓子パン含む）、インスタントラーメンやカップ麺は、経済的な暮らし向きが「ゆとりなし」で摂取頻度が高い傾向がみられた。

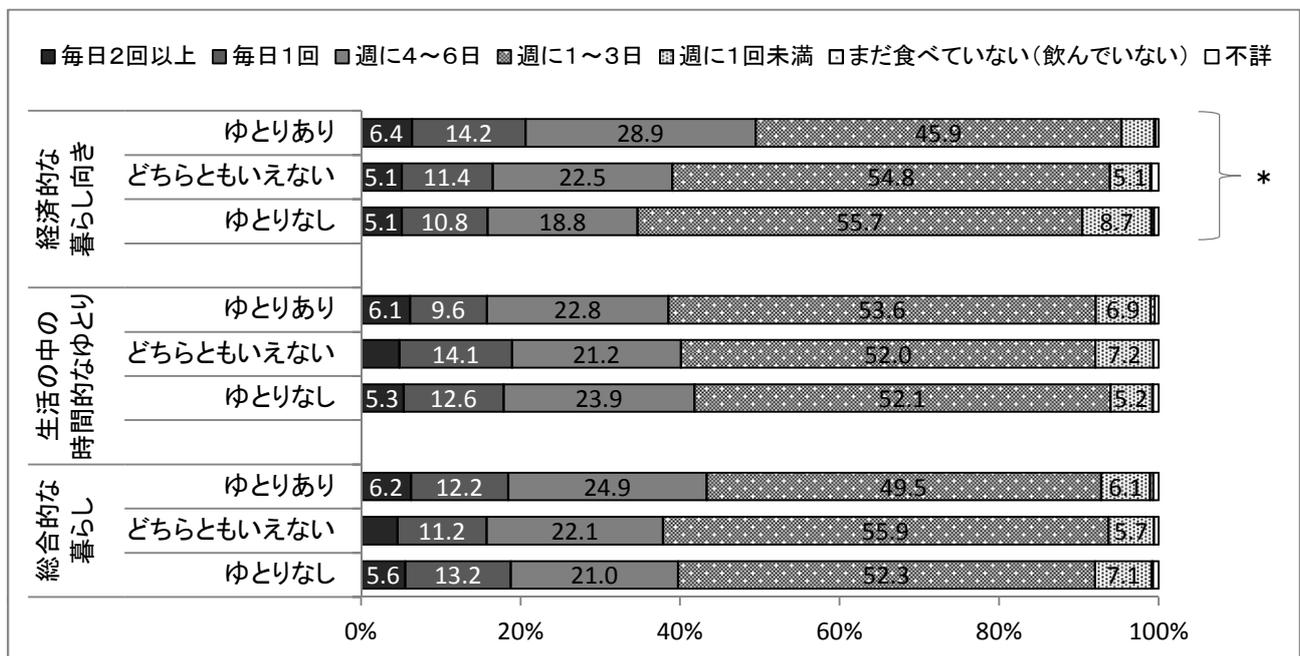
図 39 社会経済的要因別 主要食物の摂取頻度（回答者：2～6歳児の保護者）

\*：カイ2乗検定を行い、P値<0.05

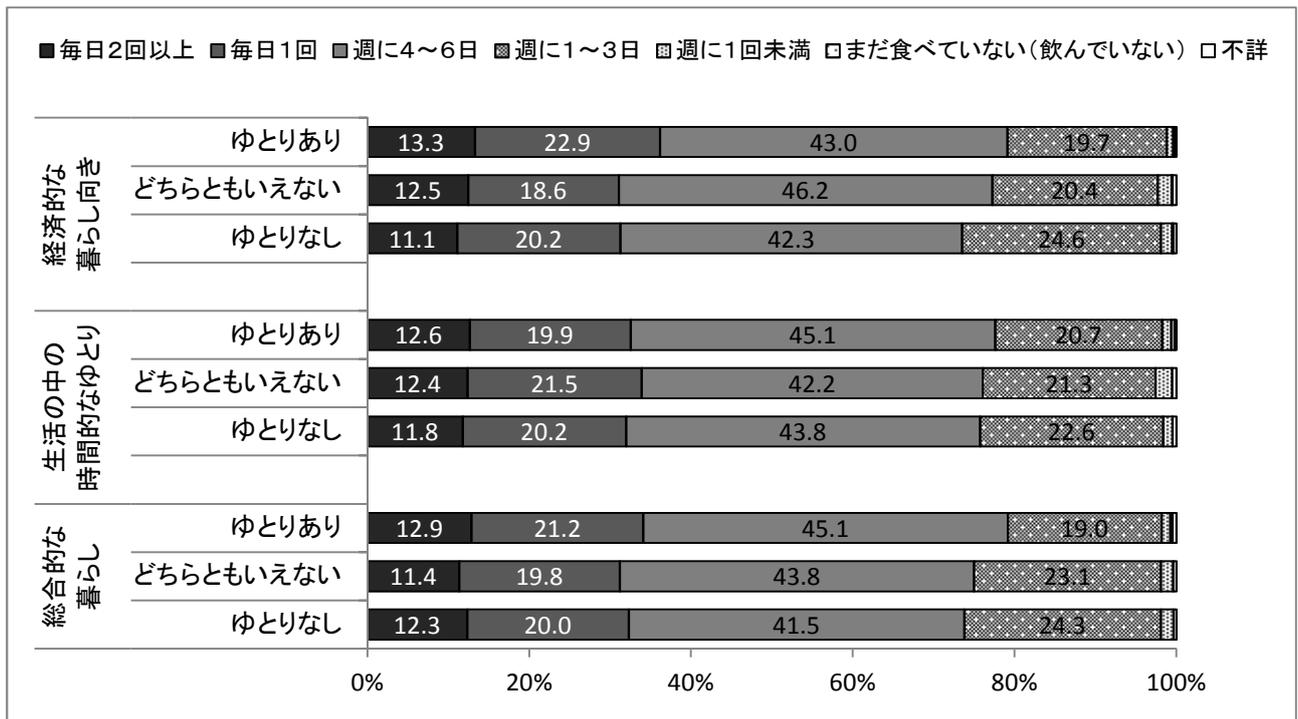
#### ① 穀類（ごはん、パンなど）



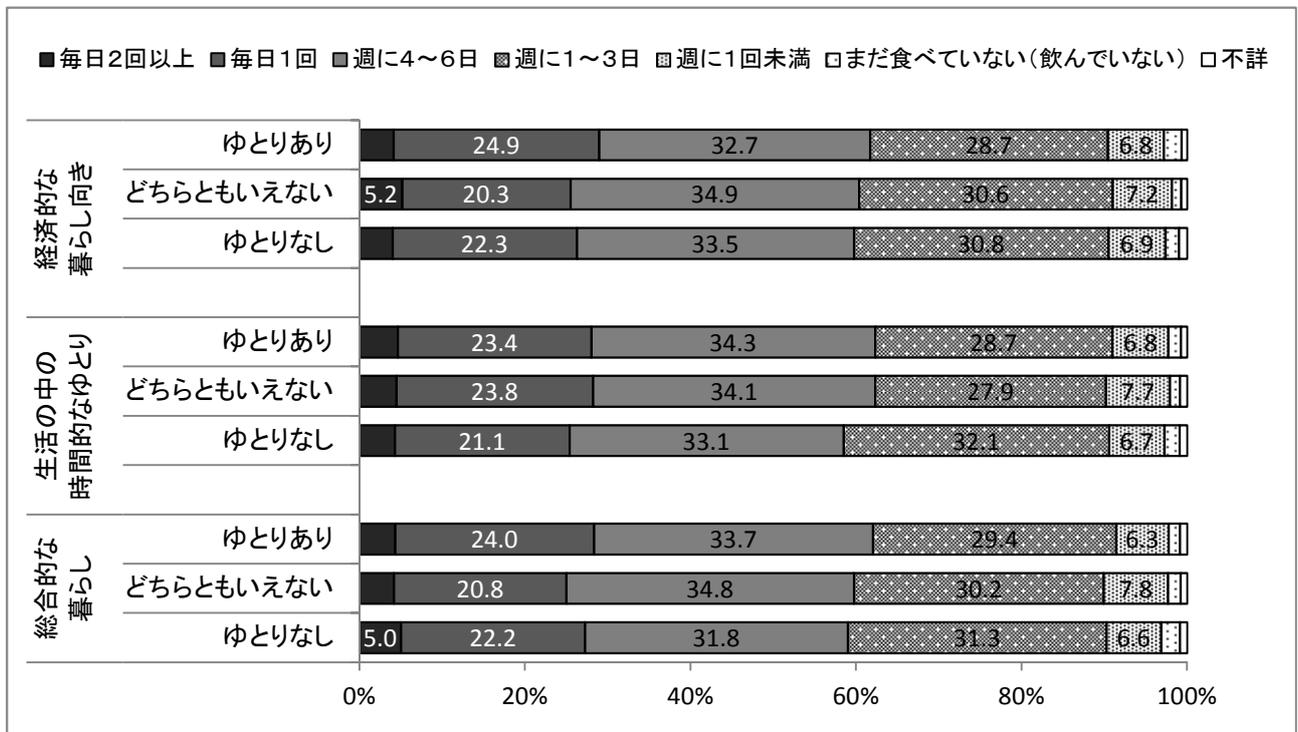
#### ② 魚



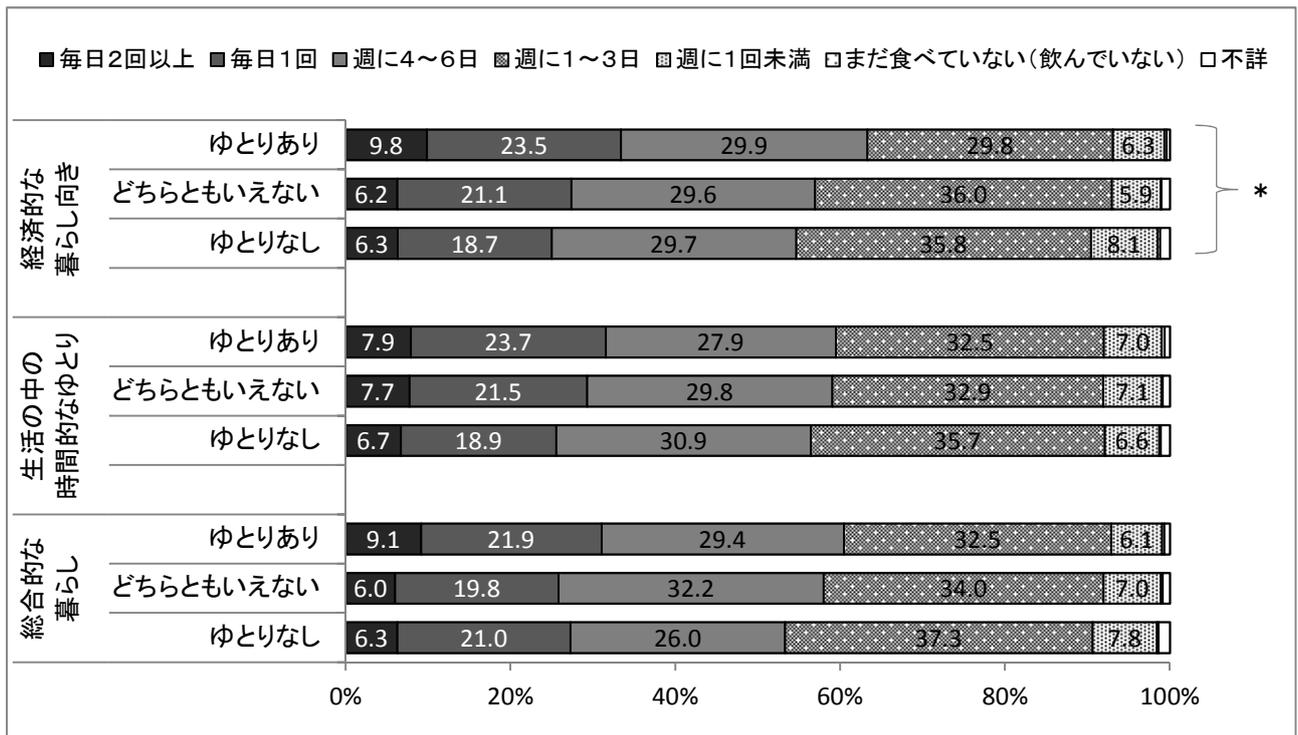
③肉



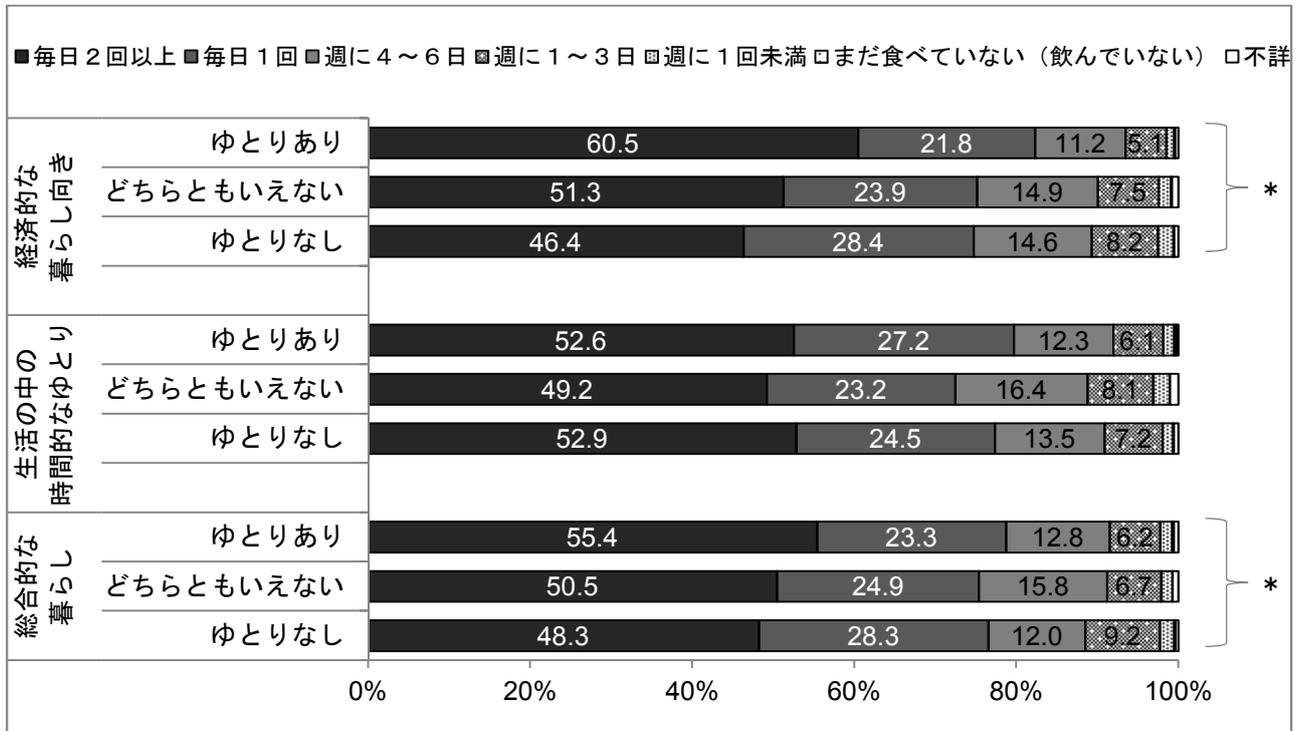
④卵



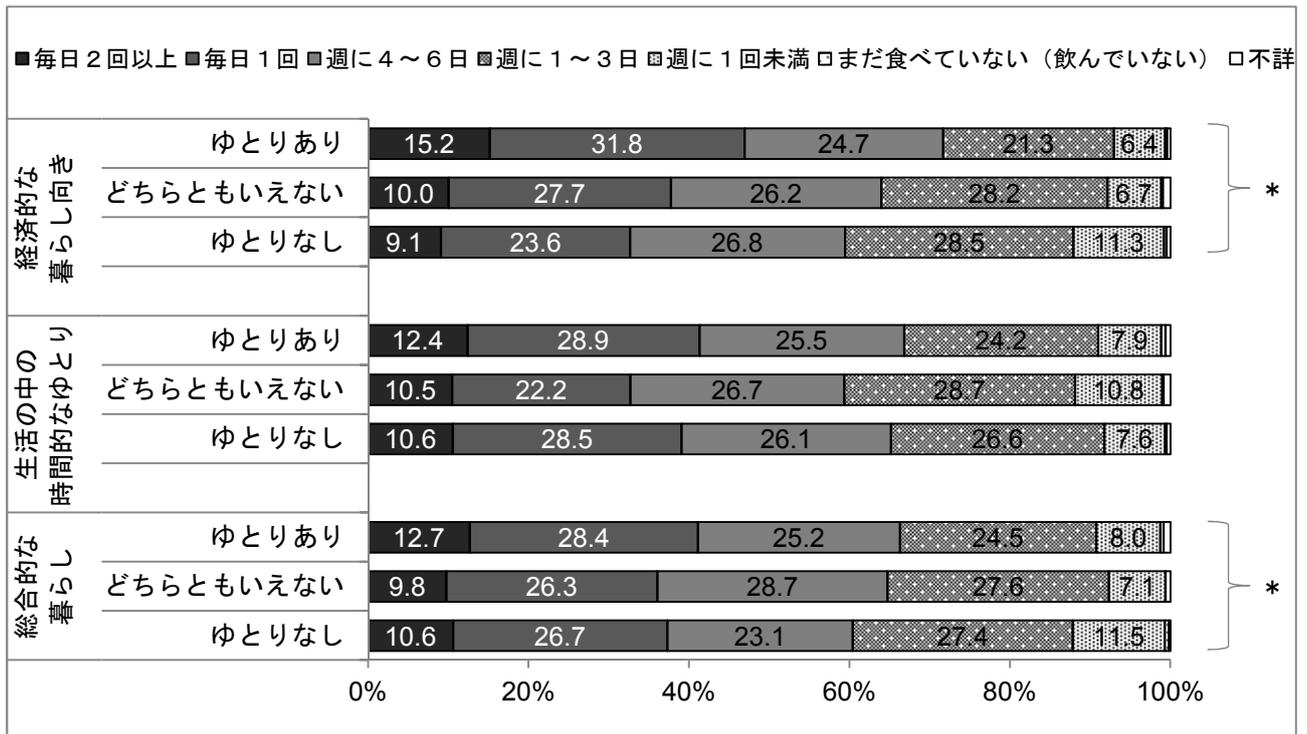
⑤大豆・大豆製品



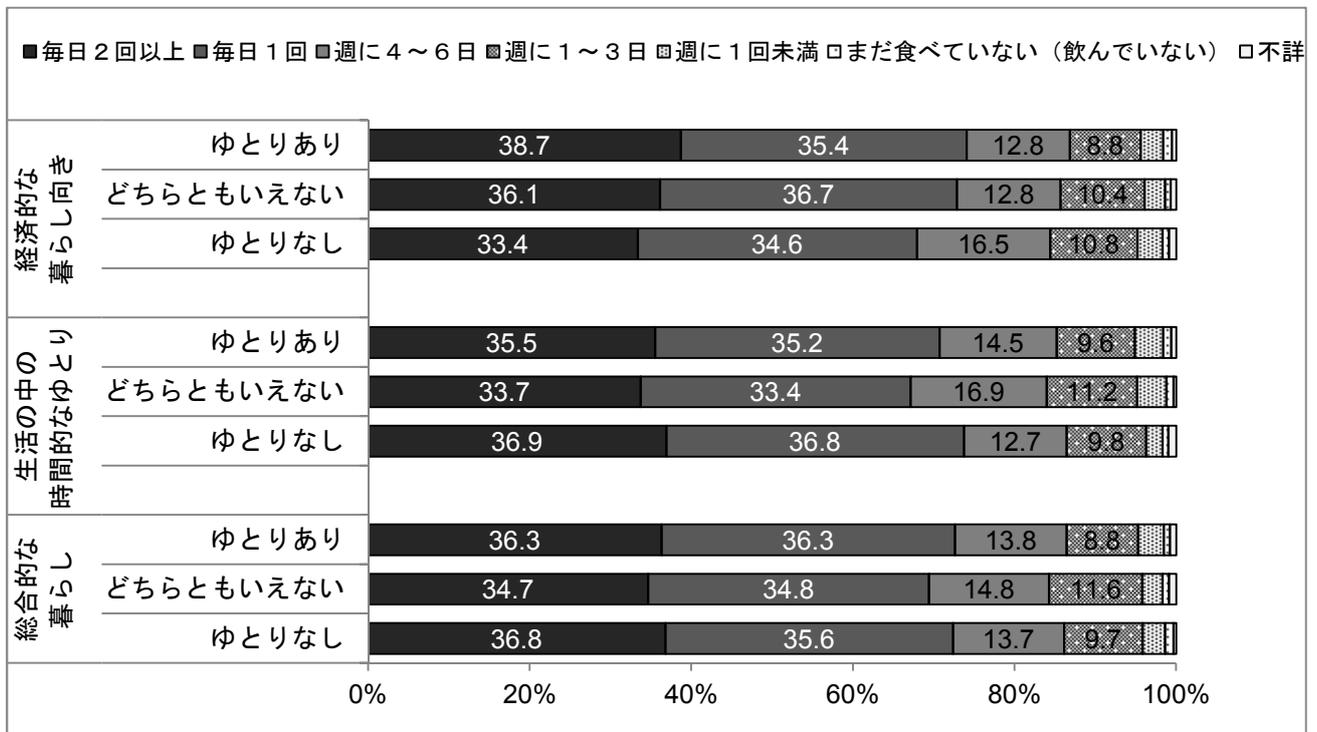
⑥野菜



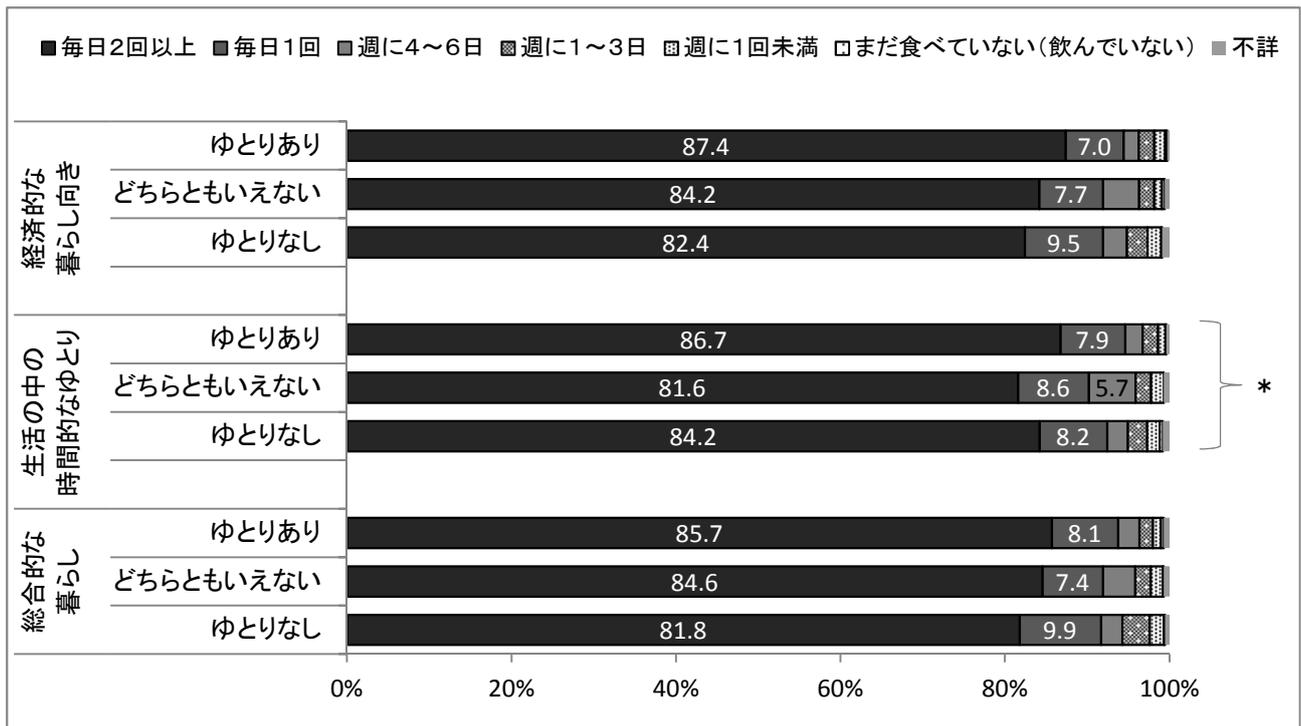
⑦果物



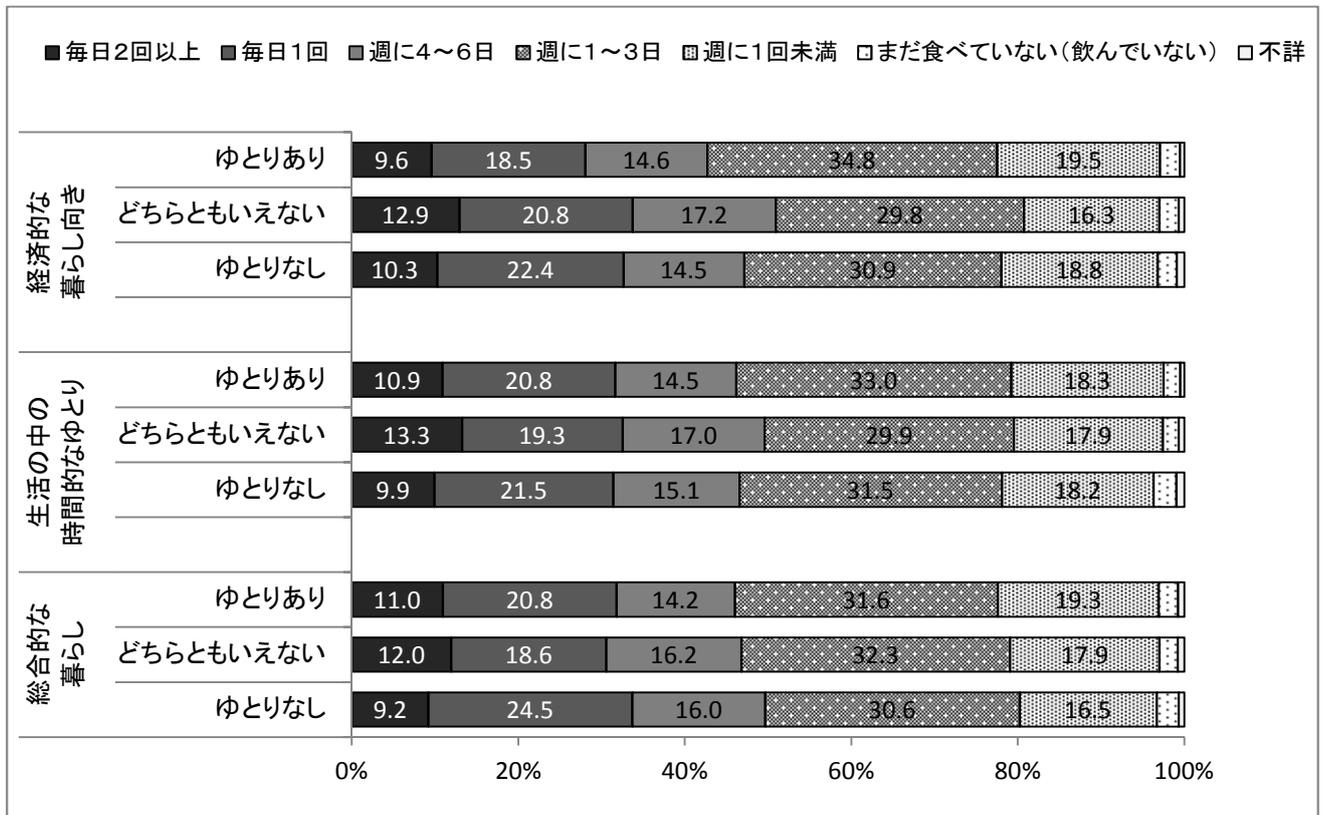
⑧牛乳・乳製品



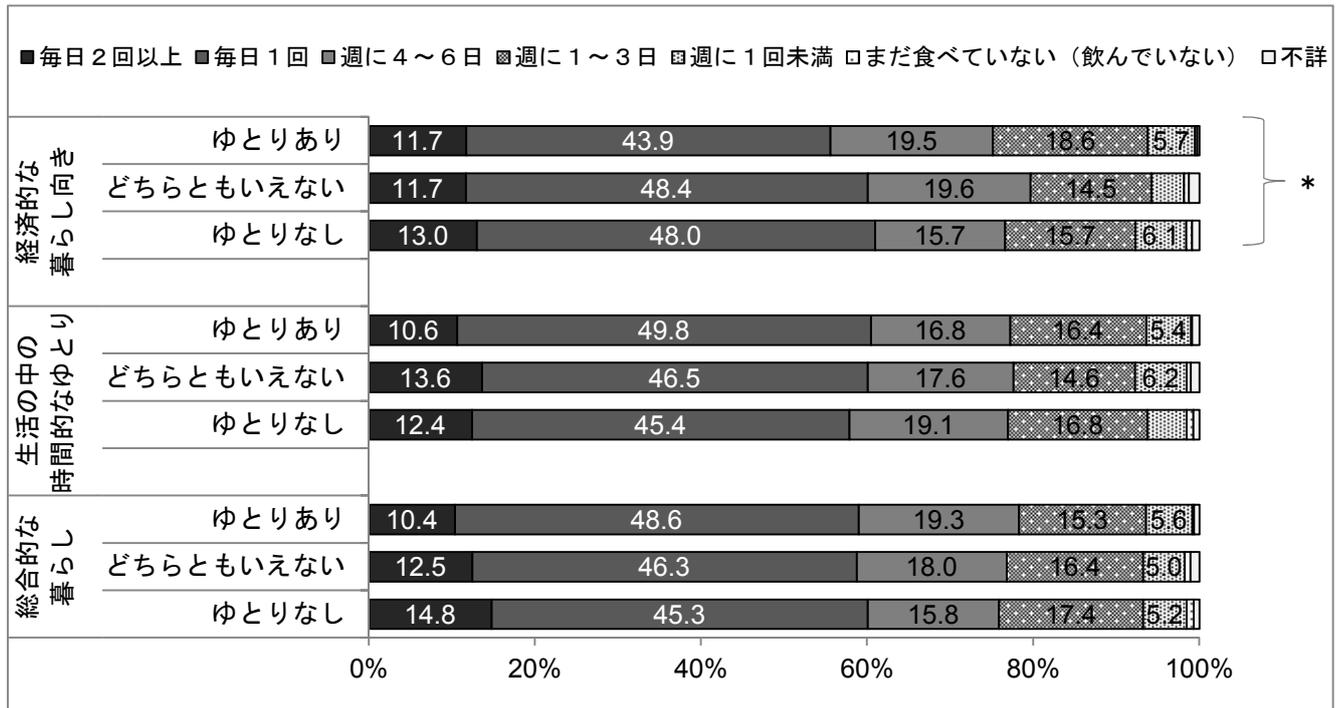
⑨お茶など甘くない飲料



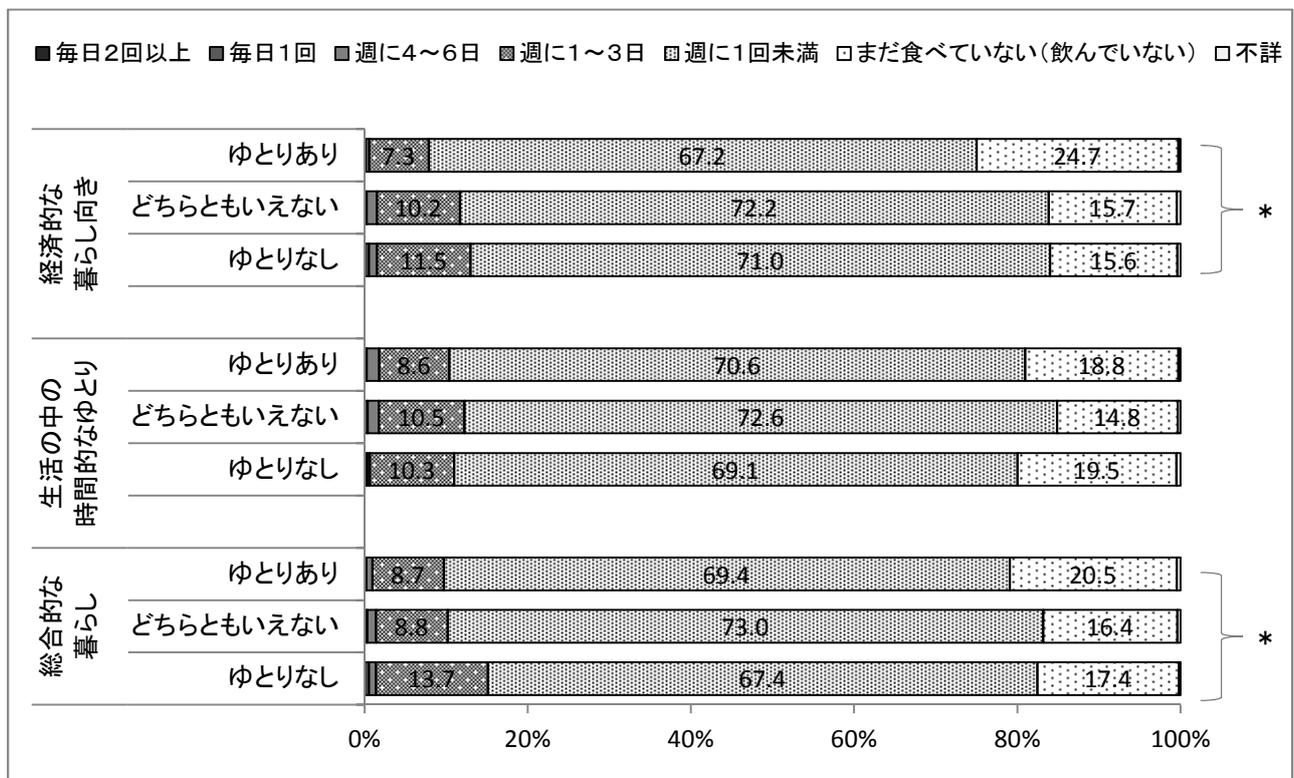
⑩果汁など甘味飲料



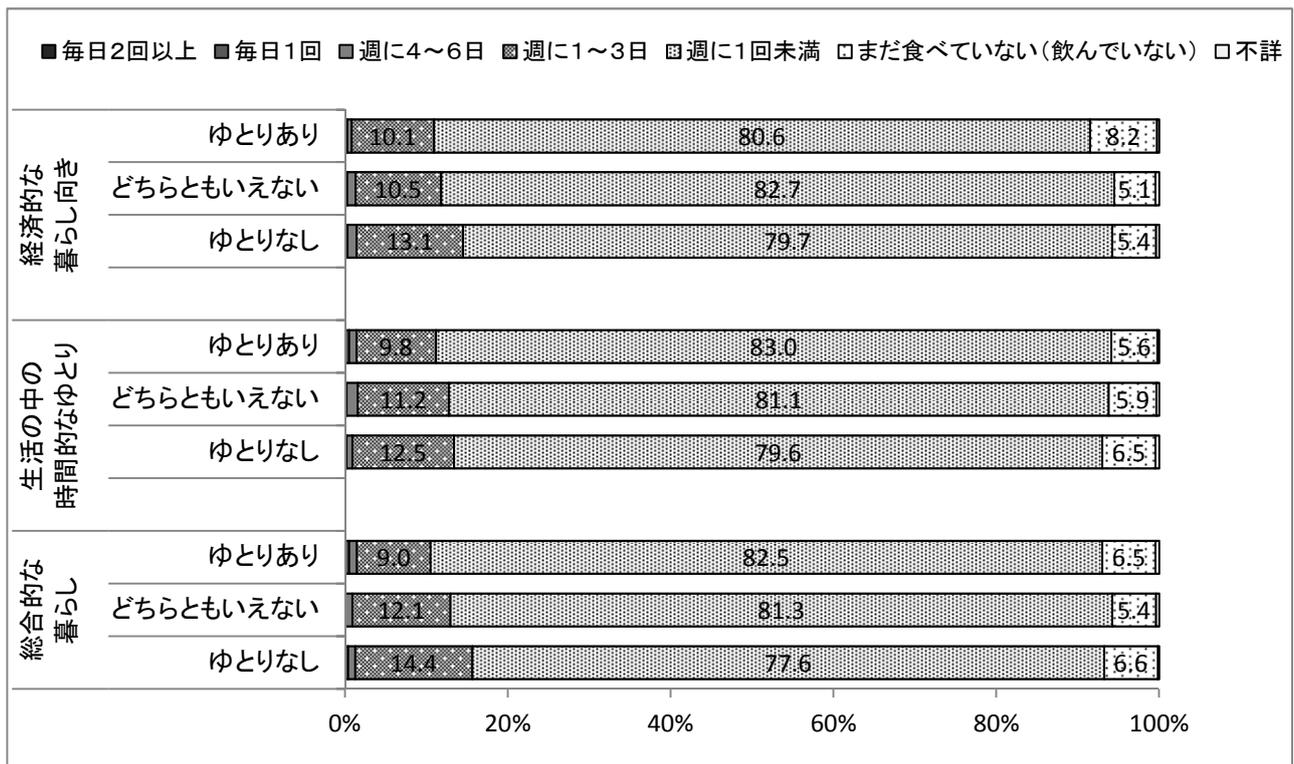
⑪菓子（菓子パンを含む）



⑫インスタントラーメンやカップ麺



⑬ファストフード



注) 図中の5%未満のデータについては、ラベル省略。参考表参照。

○対象者数

(人)

経済的な暮らし向き	ゆとりあり	752
	どちらともいえない	866
	ゆとりなし	1,001
生活の中の時間的なゆとり	ゆとりあり	799
	どちらともいえない	581
	ゆとりなし	1,241
総合的な暮らし	ゆとりあり	1,041
	どちらともいえない	1,004
	ゆとりなし	576

《参考表》社会経済的要因別 主要食物の摂取頻度 (回答者：2～6歳児の保護者)

	総数	毎日2回以上		毎日1回		週に4～6日		週に1～3日		週に1回未満		まだ食べていない (飲んでいない)		不詳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
		総数		%		%		%		%		%		%	
①穀類(ごはん、パンなど)	総数	2,623	97.0	48	1.8	14	0.5	2	0.1	2	0.1	0	0.0	12	0.5
	ゆとりあり	740	98.4	7	0.9	2	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.4
	経済的な暮らし向き	866	97.1	17	2.0	3	0.3	0	0.0	1	0.1	0	0.0	4	0.5
	ゆとりなし	1,001	96.2	22	2.2	9	0.9	2	0.2	1	0.1	0	0.0	5	0.4
	ゆとりあり	799	98.0	12	1.5	1	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.4
	経済的な暮らし向き	581	96.2	15	2.6	1	0.2	2	0.3	1	0.2	0	0.0	3	0.5
	ゆとりなし	1,241	96.8	21	1.7	12	1.0	0	0.0	1	0.1	0	0.0	6	0.5
	ゆとりあり	1,041	97.3	18	1.7	3	0.3	0	0.0	1	0.1	0	0.0	6	0.6
	経済的な暮らし向き	1,004	97.7	16	1.6	5	0.5	2	0.2	0	0.0	0	0.0	4	0.4
	ゆとりなし	576	96.0	14	2.4	6	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	0.3
②魚	総数	2,623	5.5	315	12.0	603	23.0	1,378	52.5	162	6.2	5	0.2	17	0.6
	ゆとりあり	143	6.4	107	14.2	217	28.9	345	45.9	31	4.1	1	0.1	3	0.4
	経済的な暮らし向き	866	5.1	99	11.4	195	22.5	475	54.8	44	5.1	1	0.1	8	0.9
	ゆとりなし	1,001	5.1	108	10.8	188	18.8	558	55.7	87	8.7	3	0.3	6	0.6
	ゆとりあり	799	6.1	77	9.6	182	22.8	428	53.6	55	6.9	4	0.5	4	0.5
	経済的な暮らし向き	581	4.8	82	14.1	123	21.2	302	52.0	42	7.2	0	0.0	4	0.7
	ゆとりなし	1,241	5.3	66	5.3	297	23.9	647	52.1	65	5.2	1	0.1	9	0.7
	ゆとりあり	1,041	6.2	65	12.7	122	24.9	515	49.5	64	6.1	4	0.4	7	0.7
	経済的な暮らし向き	1,004	4.6	46	11.2	222	22.1	561	55.9	57	5.7	0	0.0	6	0.6
	ゆとりなし	576	5.6	32	5.6	121	21.0	301	52.3	41	7.1	1	0.2	4	0.7
③肉	総数	2,623	12.2	319	12.2	1,148	43.8	571	21.8	35	1.3	3	0.1	11	0.4
	ゆとりあり	100	13.3	172	22.9	323	43.0	148	19.7	6	0.8	1	0.1	2	0.3
	経済的な暮らし向き	866	10.8	161	18.6	400	46.2	177	20.4	15	1.7	1	0.1	4	0.5
	ゆとりなし	1,001	11.1	202	20.2	423	42.3	246	24.6	14	1.4	1	0.1	4	0.4
	ゆとりあり	799	10.1	189	19.9	360	45.1	165	20.7	9	1.1	3	0.4	2	0.3
	経済的な暮らし向き	581	7.2	125	21.5	245	42.2	124	21.3	12	2.1	0	0.0	3	0.5
	ゆとりなし	1,241	11.8	146	11.8	543	43.8	281	22.6	14	1.1	0	0.0	6	0.5
	ゆとりあり	1,041	13.4	221	21.2	469	45.1	198	19.0	11	1.1	3	0.3	5	0.5
	経済的な暮らし向き	1,004	11.4	199	19.8	440	43.8	232	23.1	15	1.5	0	0.0	4	0.4
	ゆとりなし	576	12.3	115	20.0	239	41.5	140	24.3	9	1.6	0	0.0	2	0.3
④卵	総数	2,623	4.4	587	22.4	885	33.7	789	30.1	182	6.9	42	1.6	22	0.8
	ゆとりあり	31	4.1	187	24.9	246	32.7	216	28.7	51	6.8	16	2.1	5	0.7
	経済的な暮らし向き	866	5.2	176	20.3	302	34.9	265	30.6	62	7.2	10	1.2	6	0.7
	ゆとりなし	1,001	4.0	223	22.3	335	33.5	308	30.8	69	6.9	16	1.6	10	1.0
	ゆとりあり	799	4.6	187	23.4	274	34.3	229	28.7	54	6.8	12	1.5	6	0.8
	経済的な暮らし向き	581	4.5	138	23.8	198	34.1	162	27.9	45	7.7	7	1.2	5	0.9
	ゆとりなし	1,241	4.3	262	21.1	411	33.1	398	32.1	83	6.7	23	1.9	11	0.9
	ゆとりあり	1,041	4.3	280	24.0	351	33.7	306	29.4	66	6.3	14	1.3	9	0.9
	経済的な暮らし向き	1,004	4.2	209	20.8	348	30.2	303	30.2	78	7.8	15	1.5	8	0.8
	ゆとりなし	576	5.0	29	5.0	183	31.8	180	31.3	38	6.6	13	2.3	5	0.8
⑤大豆・大豆製品	総数	2,623	7.3	548	20.9	781	29.8	894	34.1	179	6.8	6	0.2	24	0.9
	ゆとりあり	74	9.8	177	23.5	225	29.9	224	29.8	47	6.3	2	0.3	3	0.4
	経済的な暮らし向き	866	6.2	183	21.1	256	29.6	312	36.0	51	5.9	1	0.1	9	1.0
	ゆとりなし	1,001	6.3	187	18.7	297	29.7	358	35.8	81	8.1	3	0.3	12	1.2
	ゆとりあり	799	6.3	189	23.7	223	27.9	260	32.5	56	7.0	3	0.4	5	0.6
	経済的な暮らし向き	581	7.7	125	21.5	173	29.8	191	32.9	41	7.1	1	0.2	5	0.9
	ゆとりなし	1,241	8.3	234	18.9	383	30.9	443	35.7	82	6.6	2	0.2	14	1.1
	ゆとりあり	1,041	9.1	228	21.9	306	29.4	338	32.5	64	6.1	3	0.3	7	0.7
	経済的な暮らし向き	1,004	6.0	199	19.8	323	32.2	341	34.0	70	7.0	2	0.2	9	0.9
	ゆとりなし	576	6.3	121	21.0	150	26.0	215	37.3	45	7.8	1	0.2	8	1.4

	総数	毎日2回以上		毎日1回		週に4~6日		週に1~3日		週に1回未満		まだ食べていない (飲んでいない)		不詳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
⑥野菜	総数	2,623	52.0	656	25.0	362	13.8	185	7.1	39	1.5	3	0.1	15	0.6
	経済的な 暮らし向き	752	455	164	21.8	84	11.2	38	5.1	7	0.9	1	0.1	3	0.4
	どちらともいえない	866	51.3	207	23.9	129	14.9	65	7.5	13	1.5	1	0.1	7	0.8
	ゆとりなし	1,001	46.4	284	28.4	146	14.6	82	8.2	19	1.9	1	0.1	5	0.5
	生活の中の 時間的なゆとり	799	420	217	27.2	98	12.3	49	6.1	11	1.4	2	0.3	2	0.3
	どちらともいえない	581	286	135	16.4	95	16.4	47	8.1	12	2.1	0	0.0	6	1.0
	ゆとりなし	1,241	656	304	24.5	168	13.5	89	7.2	16	1.3	1	0.1	7	0.6
	総合的な 暮らし	1,041	577	243	23.3	133	12.8	65	6.2	15	1.4	2	0.2	6	0.6
	どちらともいえない	1,004	507	250	24.9	159	15.8	67	6.7	14	1.4	0	0.0	7	0.7
	ゆとりなし	576	278	163	28.3	69	12.0	53	9.2	10	1.7	1	0.2	2	0.3
総数	2,623	292	11.1	715	27.3	683	26.0	690	26.3	220	8.4	7	0.3	16	0.6
⑦果物	総数	752	114	239	31.8	186	24.7	160	21.3	48	6.4	2	0.3	3	0.4
	経済的な 暮らし向き	866	87	240	27.7	227	26.2	244	28.2	58	6.7	2	0.2	8	0.9
	どちらともいえない	1,001	91	236	23.6	268	26.8	285	28.5	113	11.3	3	0.3	5	0.5
	ゆとりなし	799	99	231	28.9	204	25.5	193	24.2	63	7.9	4	0.5	5	0.6
	生活の中の 時間的なゆとり	581	61	129	22.2	155	26.7	167	28.7	63	10.8	1	0.2	5	0.9
	どちらともいえない	1,241	131	354	28.5	324	26.1	330	26.6	94	7.6	2	0.2	6	0.5
	ゆとりなし	1,041	132	296	28.4	262	25.2	255	24.5	83	8.0	4	0.4	9	0.9
	総合的な 暮らし	1,004	98	264	26.3	288	28.7	277	27.6	71	7.1	0	0.0	6	0.6
	どちらともいえない	576	61	154	26.7	133	23.1	158	27.4	66	11.5	3	0.5	1	0.2
	ゆとりなし	2,623	938	35.8	933	35.6	373	14.2	264	10.1	74	2.8	22	0.8	19
⑧牛乳・乳製品	総数	752	291	266	35.4	96	12.8	66	8.8	21	2.8	8	1.1	4	0.5
	経済的な 暮らし向き	866	313	318	36.7	111	12.8	90	10.4	22	2.5	6	0.7	6	0.7
	どちらともいえない	1,001	334	346	34.6	165	16.5	108	10.8	31	3.1	8	0.8	9	0.9
	ゆとりなし	799	284	281	35.2	116	14.5	77	9.6	28	3.5	8	1.0	5	0.6
	生活の中の 時間的なゆとり	581	196	194	33.4	98	16.9	65	11.2	21	3.6	5	0.9	2	0.3
	どちらともいえない	1,241	458	457	36.8	158	12.7	122	9.8	25	2.0	5	0.7	12	1.0
	ゆとりなし	1,041	378	378	36.3	144	13.8	92	8.8	33	3.2	8	0.8	8	0.8
	総合的な 暮らし	1,004	348	349	34.8	149	14.8	116	11.6	25	2.5	8	0.8	9	0.9
	どちらともいえない	576	212	205	35.6	79	13.7	56	9.7	16	2.8	6	1.0	2	0.3
	ゆとりなし	2,623	2,214	84.4	215	8.2	81	3.1	55	2.1	35	1.3	6	0.2	17
⑨お茶など甘くない飲料	総数	752	657	53	7.0	14	1.9	14	1.9	10	1.3	2	0.3	2	0.3
	経済的な 暮らし向き	866	729	67	7.7	38	4.4	16	1.8	8	0.9	3	0.3	5	0.6
	どちらともいえない	1,001	825	95	9.5	29	2.9	25	2.5	17	1.7	1	0.1	9	0.9
	ゆとりなし	799	693	63	7.9	17	2.1	15	1.9	7	0.9	1	0.1	3	0.4
	生活の中の 時間的なゆとり	581	474	50	8.6	33	5.7	11	1.9	9	1.5	0	0.0	4	0.7
	どちらともいえない	1,241	1,045	102	8.2	31	2.5	29	2.3	19	1.5	5	0.4	10	0.8
	ゆとりなし	1,041	892	84	8.1	27	2.6	17	1.6	10	1.0	4	0.4	7	0.7
	総合的な 暮らし	1,004	849	74	7.4	39	3.9	19	1.9	15	1.5	1	0.1	7	0.7
	どちらともいえない	576	471	57	9.9	15	2.6	19	3.3	10	1.7	1	0.2	3	0.5
	ゆとりなし	2,623	287	10.9	545	20.8	404	15.4	830	31.6	476	18.1	61	2.3	20
⑩果汁など甘味飲料	総数	752	72	139	18.5	110	14.6	262	34.8	147	19.5	18	2.4	4	0.5
	経済的な 暮らし向き	866	112	180	20.8	149	17.2	258	29.8	141	16.3	20	2.3	6	0.7
	どちらともいえない	1,001	103	224	22.4	145	14.5	309	30.9	188	18.8	23	2.3	9	0.9
	ゆとりなし	799	87	166	20.8	116	14.5	264	33.0	146	18.3	16	2.0	4	0.5
	生活の中の 時間的なゆとり	581	77	112	19.3	99	17.0	174	29.9	104	17.9	11	1.9	4	0.7
	どちらともいえない	1,241	123	267	21.5	188	15.1	391	31.6	226	18.2	34	2.7	12	1.0
	ゆとりなし	1,041	114	217	20.8	148	14.2	329	31.6	201	19.3	24	2.3	8	0.8
	総合的な 暮らし	1,004	120	187	18.6	163	16.2	324	32.3	180	17.9	22	2.2	8	0.8
	どちらともいえない	576	53	141	24.5	92	16.0	176	30.6	95	16.5	15	2.6	4	0.7
	ゆとりなし	2,623	53	9.2	245	9.2	92	3.5	141	5.4	176	6.7	15	0.6	4

	総数	毎日2回以上		毎日1回		週に4～6日		週に1～3日		週に1回未満		まだ食べていない (飲んでいない)		不詳	
		人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%	人数	%
		総数		%		%		%		%		%		%	
①菓子(菓子パ ンを含む)	経済的な 暮らし向き	752	12.2	1,232	47.0	474	18.1	424	16.2	138	5.3	14	0.5	22	0.8
	ゆとりあり	88	11.7	330	43.9	147	19.5	140	18.6	43	5.7	2	0.3	2	0.3
	どちらともいえない	866	11.7	419	48.4	170	19.6	126	14.5	34	3.9	5	0.6	11	1.3
	ゆとりなし	1,001	13.0	480	48.0	157	15.7	157	15.7	61	6.1	7	0.7	9	0.9
	生活の中の 時間的なゆとり	799	10.6	388	49.8	134	16.8	131	16.4	43	5.4	1	0.1	7	0.9
	ゆとりあり	581	13.6	270	46.5	102	17.6	85	14.6	36	6.2	3	0.5	6	1.0
	どちらともいえない	1,241	12.4	564	45.4	237	19.1	208	16.8	59	4.8	10	0.8	9	0.7
	ゆとりなし	1,041	10.4	506	48.6	201	19.3	159	15.3	58	5.6	2	0.2	7	0.7
	総合的な 暮らし	1,004	12.5	465	46.3	181	18.0	165	16.4	50	5.0	7	0.7	11	1.1
	ゆとりなし	576	14.8	261	45.3	91	15.8	100	17.4	30	5.2	5	0.9	4	0.7
	総数	2,623	0.0	8	0.3	24	0.9	258	9.8	1,845	70.3	478	18.2	10	0.4
②インスタント ラーメンやカッ プ麺	経済的な 暮らし向き	752	0.0	1	0.1	3	0.4	55	7.3	505	67.2	186	24.7	2	0.3
	ゆとりあり	866	0.0	2	0.2	11	1.3	88	10.2	625	72.2	136	15.7	4	0.5
	どちらともいえない	1,001	0.0	5	0.5	10	1.0	115	11.5	711	71.0	156	15.6	4	0.4
	ゆとりなし	799	0.0	2	0.3	12	1.5	69	8.6	564	70.6	150	18.8	2	0.3
	生活の中の 時間的なゆとり	581	0.0	2	0.3	8	1.4	61	10.5	422	72.6	86	14.8	2	0.3
	ゆとりあり	1,241	0.0	4	0.3	4	0.3	128	10.3	857	69.1	242	19.5	6	0.5
	ゆとりなし	1,041	0.0	2	0.2	8	0.8	91	8.7	722	69.4	213	20.5	5	0.5
	総合的な 暮らし	1,004	0.0	3	0.3	11	1.1	88	8.8	733	73.0	165	16.4	4	0.4
	ゆとりあり	576	0.0	3	0.5	5	0.9	79	13.7	388	67.4	100	17.4	1	0.2
	ゆとりなし	2,623	0.0	7	0.3	24	0.9	298	11.4	2,124	81.0	160	6.1	10	0.4
③ファストフー ド	経済的な 暮らし向き	752	0.0	2	0.3	4	0.5	76	10.1	606	80.6	62	8.2	2	0.3
	ゆとりあり	866	0.0	2	0.2	9	1.0	91	10.5	716	82.7	44	5.1	4	0.5
	どちらともいえない	1,001	0.0	3	0.3	11	1.1	131	13.1	788	79.7	54	5.4	4	0.4
	ゆとりなし	799	0.0	4	0.5	7	0.9	78	9.8	663	83.0	45	5.6	2	0.3
	生活の中の 時間的なゆとり	581	0.0	1	0.2	8	1.4	65	11.2	471	81.1	34	5.9	2	0.3
	ゆとりあり	1,241	0.0	2	0.2	9	0.7	155	12.5	988	79.6	81	6.5	6	0.5
	ゆとりなし	1,041	0.0	5	0.5	10	1.0	94	9.0	859	82.5	68	6.5	5	0.5
	総合的な 暮らし	1,004	0.0	0	0.0	9	0.9	121	12.1	816	81.3	54	5.4	4	0.4
	ゆとりあり	576	0.0	2	0.3	5	0.9	83	14.4	447	77.6	38	6.6	1	0.2
	ゆとりなし														

※総数には、社会経済的要因「不詳」含む